

参考資料集（案）

- 【参考資料 1】 寄せられた意見一覧（さかポス、タウンミーティング、その他）
- 【参考資料 2】 市民アイデア集－施策の種－
- 【参考資料 3】 タウンミーティング i n 酒田で出された意見まとめ
- 【参考資料 4】 市民アンケートの結果
- 【参考資料 5】 パブリックコメントの結果（予定）
- 【参考資料 6】 各種会議開催、先進事例視察等の経過等

【参考資料 1】寄せられた意見一覧（さかポス、タウンミーティング、その他）

Q 1 グランドデザイン、私ならこうする

書き込み内容
酒田は学びの選択肢(専門学校、大学の学部等々)が限られており、進学で都市部に出てそのまま就職となるのは自然のように感じます。中町を暮らしやすい場所にすることや起業を推進すると同時に、教育に力を入れることのできる環境や学生が学習の為に内外から集まる環境があればいいのに…と思います。
中町の一方通行を無くす。できれば可能な所に道路にパーキングメーターを付ける。
中心部の地価が下がっているという事は、空き店舗を買う・借り易くなっていると言えます。物件所有者の世代交代も進んでおり、条件も以前より緩和されていると思います。これまで地域にない新しい事業創発を行うプログラムを実施し、実践する場にしていく事で、賑わいを創出できる可能性があります。
空き店舗を「小商い」や「プチ起業」向けにリノベーションし、月単位で借りられるシェアショップやポップアップスペースに。 ハンドメイド作家／焼き菓子販売／ネイル・小規模美容業など、家庭と両立しやすい 初期投資が少なく挑戦でき、まちに彩りと人の流れが生まれる
今更何を言っているんだという印象を受ける。 店を畳めば人も離れる。「職人」など既に四散している。中町～台町の強みは「食文化」なのでは。 新規店舗から老舗まで揃っているのはこのジャンルが随一。「たびのホテルit酒田」を中心に『立ち寄って美味しい町』を創生、整備。
【商店街からの意見】 これまでも市はさまざまな計画をつくってきたが、そこで終わっている感覚がある。内容を絞っても構わない、小さいことからでいいので、実際の取り組みを進めるようにお願いしたい
中町をハレの場・商業の場から新たな機能に完全に移行するのではなく、ハレの場・商業の場を中町のDNAとして残しつつ現代に即した新たな中町になって欲しい。 中通り商店街は酒田大火の復興の象徴としてある程度残して欲しい。
グリーンハウスの復活！映画をフックにした周辺の活性化、空き物件での小商い。 若者が住まうことができる仕掛けも欲しい。 周辺の駐車料金無料も実現できると良いなと
会社とマンションがあれば昼休みひとが出歩くので見かけ上賑わいと人通りがある町になります。地元民が集まる商業地にするなら車社会なので大きな駐車場を作って車の出入りを重視するべきです。バス停やタクシープールもあれば観光客も訪れやすいと思いますがおそらく地元民はバスは使わないです。
・中通り商店街が空き地が多い現状 →1人暮らしの高齢者と若者、学生が一緒に暮らす シェアハウスがあれば嬉しい。 ・人口は増えないと思うので、関係人口を仕掛け →酒田のファンを増やして欲しい
酒田の魅力を探るイベントを企画（子供を対象にしたイベント） →実際に地域で活躍している人にインタビューを行い、snsなどでその様子を発信する。 例）酒田市長、酒田舞娘、黒森歌舞伎、酒田の食を支えている方など、、をインタビュー
中町を「暮らす・働く・学ぶ・支える」が一体化した“まちなかりビング”に再生します。朝は高齢者が散歩や買い物で立ち寄り、昼は学生や若者が学びや起業で滞在し、夕方は地域全体で交流や見守りが生まれる。世代が交差する日常動線を重ねることで、人が循環し続ける“生きたまち”を育てます。
■コンセプト：まちなかりビング×世代循環 ■導線 朝：高齢者→散歩で公園・朝市→カフェー服 昼：若者→シェアオフィスや商店街活動 夕：親世代→子どもと広場・学習塾 夜：世代交流イベント（食・文化・学び） ■手段：空き店舗を利用し「暮らす・働く・憩う」を集約、回遊性を実現

書き込み内容
こうゆう事考えるのいいと思います！そして、こうゆう事を考える機会をあたえてもらってありがとうございます！ワクワクしますね！ アイディア浮かんだら投稿させていただきます！
追記。デザインも重要だろうが現状の把握も最重要。古い建物で、ここ数年漏電による事故、火災が発生しまくっている。旧パイレーツビル、健康プラザ。本日28日の旧ブルースヒロも漏電が原因ではとの話がある。「今まで酒田大火の二の舞が起きていないほうが奇跡」と言えるのでは。早く対処を。
【不動産事業者様からの意見】 ・新井田川沿い、市役所、飲食店の多い中町は距離が近く官民連携で計画を練ればいいまちになるのでは ・どのようなまちにしていきたいか、長期的視点に立った計画が必用
【不動産事業者様からの意見】 ・居住人口が増えることで、地域全体で消費や投資に使える資金が増える ・シャッターが下りている建物も、居住している例が多い。その方々にとっては、中町は暮らす場所。意見を聴き、理解することが重要
【不動産事業者様からの意見】 ・中町エリア再生のためには、駐車場問題の解決と、住居エリアの確定が必用
【不動産事業者様からの意見・情報など】 ・旧清水屋の建物の状態を考えるとリノベーションでの活用も難しいのでは ・いろは蔵パークができて、人の流れが変わった。いろは蔵から港まで歩いて移動する観光客も多い ・首都圏から酒田に来る人は、食に魅力を感じている
○夏も冬も遊べる室内遊技場 ○ファミリーが利用しやすい飲食店（チャレンジ企画も） ○趣味の展示スペースや、レンタルルームなど老若男女集まる空間 ○子育て関連施設をまとめる（健康センター・交流ひろば・にこっと・ファミサポ・マザーズハローワークなど。） ○連結した大規模駐車場は必須！
酒田に重要なのは風と雪対策です。無電柱化の進んでいる中町エリア全体に防風目的の街路樹を植えるのはいかがでしょう。火災対策も入念に取った上で。また地盤の状態や予算によりますが地下通路を新設すれば住民も観光客も吹雪に晒されず移動できます。
【商店街からの意見】 ・中町エリアの再生、やるなら効果の見えるものに ・まちづくりに取り組むに当たり、ニーズ調査が必要だと思う ・中心市街地活性化計画に基づく再開発をやってほしい
【商店街からの意見】 ・商店街単独ではハードの更新は難しい。デベロッパー（開発業者）など核になる人がいて、それをサポートするような形が望ましい ・商店街同士連携することが必要
【商店街からの情報】 ・「中町に来たことがない」という若い人（20代～30代）もいる。

書き込み内容
まずは市民が使いたいと思える施設を中町集結させて、健康を考えた施設（ジムやお年寄りの体を動かせる場所）、子どもの遊び場（大型遊戯施設）、学生の勉強スペース、さまざまな名体験が出来る場所をつくってほしい。
先程投稿したさまざまな体験が出来る場所をつくって欲しいというのは、市民も観光客も楽しめる体験が出来る場所です。例えば、舞妓さん体験、木のコースターやアクセサリ作り、酒田市ならではのアップリケを貼って作るTシャツやポーチ作り、などなど市民も観光客もたのしめるものを取り入れて欲しい。
中町は酒田祭りのメイン会場でもあるので、祭りのシンボルとして獅子頭のほかに山車も飾っておける場所があったら良い。
店舗兼住宅の空き店舗を活用するため、共同住宅を整備して店舗兼住宅まると賃貸や店舗＋賃貸を含むマンションへの建替えにより、魅力ある店舗の誘致、新規出店を促す。
中町に専門学校等の、学校があれば良いと思う。
清水屋跡地を現況（既存不適格）のまま暫定活用する 耐震改修のコストを回避。大規模にリノベするか、壊すかではなく”今のまま使えないか”を模索し、”段階的に開発”していく。 ※暫定活用の案（例）を画像で添付します ※［アイデアの詳細］内の関連リンクから構想の詳細を共有します
中央公園を駐車場として活用しましょう。 イベントの時以外はほぼ使われていないと思われるので、もったいないです。 プレハブ/コンテナ建築の用地としても有用だと思います。
旧マリーン5清水屋を解体し、低層階が公共スペースや店舗、高層階が賃貸・分譲のマンションを建てて、店舗誘致や移住促進、居住人口増を図る。
■大規模駐車場問題 中町中心街は、車社会以前の街づくりを反映しており、現代のニーズに合った大規模な平置き無料駐車場の整備が急務です。駐車場問題が解決しない限り、どんなに魅力的な店舗や取り組みがあっても、来客数や人の流れは増えず、街全体の活力が先細りすることは明かです。
清水屋跡地も立体駐車場も含め耐震改修しても建物寿命のわずかな先延ばしにしか見えない。であれば今のうちに取り壊し平屋か二階建て位の時代にあったコンパクトな建物に変え、一階は中町に無くて困っている人も多いスーパーと駐車場、二階は居住スペースや若い方がチャレンジ出来るお店とか。
本間家旧本邸などの歴史的建造物近辺がそれに連なる雰囲気などが一切なく、本邸横の石畳を歩いても空き家や駐車場、一般のお店や住宅などが並ぶだけで興味が一切ない。今後も酒田を担う本間家旧本邸や鍍金などは近隣も含めて雰囲気を統一したり建物や空間で観光や訪れた人を誘導出来る街づくりを希望。
若者が外に遊びに行くのではなくかつての中心街がそうだったような場所、「高校生デートできるまち」をコンセプトに出来るくらい目指してほしい。高校生や中学生は中町なら車の送りがなくとも遊べる地域だと思うが、今の中町にそれに似合う場所はない。
ハザードマップを見ても酒田中心や中町は安心感があるのを生かした新たな居住施設や大型病院を作る計画があっても良いと思う。これから水害多発による街の機能低下を考えれば中町エリアは災害に強くコンパクトに住めるモデルタウンの可能性がある！
交通アクセスを良くした中町に、老朽化する酒田警察署（昭和53年築）を新築移転又は一部機能移転させて運転免許更新・返納などの利便を図り、中町へ人が来るきっかけを作る。
市内には新しい賃貸物件が少ないそうなので、中町に新しいマンションやアパートを作って需要を取り込む。
中町にある平置き駐車場は、自走式多段駐車場への転換を促進し、収容力増強と屋根部分による降雨、降雪時の利用をし易くする。

書き込み内容
新しい建物をつくるなら壊すことも考えて、縦に伸ばすのではなく横に広げる低層で若い人がチャレンジしやすい家賃の商業地域にしてほしい。
いろんな国の料理が食べられるお店が集まった飲食街があっても面白いかも。
旧マリーン5清水屋を耐震補強&リノベーションして、市内に点在する公共施設（税務署、法務局、ハローワーク、身障者センター、市民健康センター等）を集める。また低層階にイベントスペース、子ども広場、小型店舗、100円ショップなどを設けて、平日、休日共に人が来る拠点化を図る。
庄内米歴史資料館は、米俵を担げるとか面白い観光資源なので、お米の食べ比べができるなど、より体験型にリニューアルして再開すると良い。
清水屋には老人ホームを上階に持ってきて、下階は子供や若い人が集まる塾、学童、コンビニなどを誘致。店舗と民泊を一緒にしたほかの都市の例があるが、中町商店街も民泊や新しい定住者用に整える。中町の歴史を踏まえて、そこに手を加えて昔から住んでいる人も楽しめて、発展性あるまちづくりがいい。
新幹線が通っていない、昔ながらの町があって程よい不便さがある陸の孤島感が酒田の良さだと思っています。頑張って都会化するのではなくて、あくまでも住んでいる人が住みやすい街を作っていけたらいいな。
もっとスピード感あるまちづくりをしないといけないと思う。ここに出ている良い案は来年の策定を待つまでもなく実行していかないと、どんどん空洞化していくばかり。何を待っているのかわからない。
人口が減る中で外国人を含めた訪問人数の増加が市の活性化にとって現実的な方向性だと思います。そのためには観光地として魅力的に映ることが必須で観光資源が点在する日和山、山居倉庫周辺に加えてその中間地点である中町も含めて観光客視点での開発が必要ではないかと思います。
テラス席を活用して見た目から活気を作っていくべきなのは せっかくなら中町をまた歩行者専用にしてほしいくらいだ。そのためには車がなくても中心地に気軽に来れる仕組みが必要だろう。あとはお金を下さずとも座れる場所は欲しい
住みやすい町づくりの一環として、映画館や、大型商業施設など若者が欲しいと思う店を増やして欲しい！
クルーズ船から観光客は来たけど、中町の閑散としたシャッター街を見てそんなに面白くないと思っている人の声も聞きます。やはり中町に住みたい、住める環境を作ることが優先かと思います。観光だけで町がにぎわうのはとても難しいです。
Ｑ２ 中町エリアでの働き方のアイデア
書き込み内容
中町といえば飲み屋！ なので仕事終わりに飲みに行けるような働き方がよい 会社で費用を全額負担にして、飲み屋の活性化にも繋げる
秋田市のようにIT企業を誘致する。
オフィス誘致を進め、昼間人口が増えることで、夜営業しかしていない飲食店が昼営業を行い、昼夜の賑わいを創出することが出来るかもしれないですね。
デザイン・ものづくり・ライティング等 住居＋仕事場が一体化した施設（町家リノベ型など） 補助金による家賃サポート 地元商店や行政とのコラボ案件の提供 起業家同士のネットワークづくり 地元に根差しながら“都会に依存しない働き方”を実現、酒田の風土・文化と融合したクリエイティブな仕事

書き込み内容
秋田市のようにIT企業を誘致する。
中町といえば飲み屋！　なので仕事終わりに飲みに行けるような働き方がよい 会社で費用を全額負担にして、飲み屋の活性化にも繋げる
デザイン・ものづくり・ライティング等 住居＋仕事場が一体化した施設（町家リノベ型など）、補助金による家賃サポート 地元商店や行政とのコラボ案件の提供、起業家同士のネットワークづくり 地元根差しながら“都会に依存しない働き方”を実現、酒田の風土・文化と融合したクリエイティブな仕事
オフィス誘致を進め、昼間人口が増えることで、夜営業しかしていない飲食店が昼営業を行い、昼夜の賑わいを創出することができるかもしれないですね。
【商店街からの意見】 事務所を求めている事業者はいる。まちなかを歩いて事務所を探しているようだ 起業も素晴らしいですが、就職する若者は給料がよく都会的な仕事に憧れるものです。若い力を求めるなら都内に本社がある会社のサテライトオフィスがあればよいとおもいます。
■コンセプト：シニア経験 × 若者技術 ■導線　：午前：シニア伝統工芸・地域史ワークショップ　午後：若者ICT・デザイン・EC支援で商品化 ■方　　：住民や観光客に販売・発表会 ■手段・空き店舗「共創ワークラボ」化　・高齢者若者の役割分担　・売上を店舗維持やシェア運営、持続性確保
空き店舗をリノベし「世代共創ワークプレイス」として整備。若者はリモートや創業拠点、高齢者は伝統技術や経験を活かした講座や商品開発に参加。日中は観光客や市民が交流できるオープンイベントを開催し、夕方には地域支援や子ども学習サポートも行う。働くことがそのまま地域を支える仕組みとする。
【商店街からの意見】 ・価格競争に巻き込まれにくい、サブカルチャー系の店舗が中町に合っていると思う。 ・最近では、古きを扱う店など、個性を重視したお店が入っている。 ・飲食店の出店ニーズはあるが、貸す側の都合（飲食店はダメなど）や、水回りなど構造の問題で断られるケースが多い。
中町の商店街や近隣は市の方が言われている通り、テナポ居住型なのでどうしても借りの条件に制限や家賃のムラがある。いっそ市が買い取り、貸店舗として若い方が借りやすい物に作り直して貸し出してほしい。一店舗だけ良い店がぼつんと出ても今の中町の集客力ではとても商売にはならない様に見える。
中町は外からの集客が多いイメージなので他の方の意見の様にビジネスオフィスが入る様なになれば昼人口も増え、夜のお店だけではない価値も高くなるのではないかな？
中町に限らないが、インターネットを活用して地元の食材、食品などを国内・海外に売りだしていくためのサポートが必要かも。
街の一角(空スペース)にいろいろな商品（ホビー商品、ハンドメイド雑貨など）を展示販売するレンタルショーケースが並んでいるとギャラリースペースも兼ねて面白いと思う。なお、中古品を仕入れる出品者は古物商許可が必要になる。
地域課題に対する起業セミナー、ビジネスコンテストを実施して、優秀なプランに資金支援や中通り商店街の空き店舗を提供する。
計画コンセプト　「創る・活かす・集める　新しい中町の力」　サンロクを中心に中町にある中通り商店街や中町庁舎などの既存の施設・商店街を活用して企業の誘致や新しく創業することができる環境に整える。また、ハローワーク酒田や警察署など中心市街地外にある機能を中町庁舎を中心に移転させる。
中通り商店街のシャッター店舗を開けるように、テナントに出したら税制優遇をするなどしないと誰もシャッターを開けない。もしくは市で買い取り、中通りコミセンを作り人々が利用できるようにしてほしい。コミセンの半分は学生の勉強スペースに。

Ｑ３　中町エリアでの暮らしのアイデア

書き込み内容
すべてが揃う街にしたい 現状だとスーパーがないので早急に清水屋跡地にスーパーを建設すべし
バスを使って生活できるような環境とインフラ。あと中町にはアパートが少ない。リノベも物件情報が無い。学校も遠いし、これくらいないと、他の地域から人（特に子育て世代）は移り住まないと思う。
市内事業所の若手社員が共同で暮らすシェアハウスがあると、それぞれの事業との連携など新しいアイデアが生まれるかもしれないですね。
まちなか暮らし体験住宅 空き家や町家をリノベーションし、学生が短期的にまちに住みながら学ぶ・働く体験ができる仕組み
【商店街からの意見】　中町に最近できたアパートに住む人たちは車移動が多いようだ
【商店街からの意見】　中町に住む人が増えることの影響は大きい。学生が増えることが一番。学生向けに家賃3万円～4万円でシェアハウスなどができればいいが、家賃は簡単に安くできないのが問題（固定資産税が影響する）
高齢者が住みやすい、弱者が排除されないまちづくりをして欲しい。介護を必要としない、元気な高齢者の居住エリアを作る。　・高齢者向け賃貸住宅を作る。家賃は補助金制度を使って安くする。　・一部商店街を解体。山居倉庫をイメージした、平家賃貸住宅を建設。戸建てが望ましいが、長屋風でも良い。
暮らすなら店を増やすために空き店舗をリノベーションまたは解体をしてスーパーや個人商店を増やしたらいいと思う。そして中町エリアは空きビルも増えていると思うのでそこを高齢者が運動や会話ができる施設、1階にはちょっとした店を作れば高齢者も元気になるし店も増える、
宅配センターがあれば車がなくても通販で買い物の不便が減ります。バスは病院行きの便が多いと高齢者も安心して住みやすいです。ただし逆に言えば車に乗ればバスを必要とせず高齢になって車を手放してから乗り方を知る市民も多いです。普及させるには小学生のうちからかと。
上下階や隣接した空き家を活用し「暮らす＋支える」がセットになったコリビング住宅を展開。若者・移住者はテレワークや学び場、高齢者は日常の拠点として利用。1階は共用の食堂や交流ラウンジ、2階は住居にして、世代の距離を縮める設計。生活動線上に自然な助け合いが生まれる暮らしを提案します。
■コンセプト：「共に住み、共に支える」 ■導線設計　朝：高齢者→コリビング内共同朝食、若者→テレワーク準備　昼：若者→リモートワーク、高齢者→昼食や見守り　夜：世代合同夕食、役割分担 ■手段　・空き家改修「職住一体型住宅」　・高齢者安心、若者低コスト利用　・サブスク型生活費シェア
【不動産事業者様より提供いただいた情報】　・中町エリア、賃貸の需要はある　・単身赴任者や学生向けに、家具付き賃貸物件が人気　・洋上風力の関連で今後賃貸の需要は高まると予想　・学生向け賃貸など、家賃4万円を超えると厳しい
【不動産事業者様より提供いただいた情報】　・中通りのアーケードは共有財産。建物から伸びた鉄骨で保持しているので、その建物を壊す場合は、別途補強を施す必要がある・駐車場需要は高い　・中古住宅の価値・需要が高まっている（全市的に）　・更地、空き家それぞれ需要はある

書き込み内容
【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・事業者からの出店ニーズはあるが、入居可能な物件が少ない（入れる物件は埋まっている） ・準防火地区の建築コストは他の2割増し。建築を阻害する要因の一つ ・長屋造りの物件は、全体で建て替えまたは改修しないといけない
【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・建設が予定されているホテルの周辺では、土地、建物ともに動きが見られる ・老朽化した建物を解体するとき、アスベストの問題が出てくると考えられる ・店舗兼住宅は、リノベーションも含め構造的に難しい面が多い ・活用可能な空き家は少ない
【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・解体費用を含めた建設コストが高騰し、新築は採算が合わない。リフォームが中心 ・中心部は人口減少が顕著。郊外に住居を求める傾向が強い
公共交通機関の拠点、ターミナルを中町とするならば広めのバスの待合所は必須かと思われます。冬場に外のバス停で待ちぼうけるのはからだにこたえます。
【商店街からの情報】 ・中町に暮らす人の多くは70代～80代であるようだ
理想の暮らす場所は、安全で交通アクセスが良く、商業施設や医療施設、教育施設が充実している街。 美味しい飲食店、おしゃれなお店、安くて品揃えの良いお店のある賑やかな商店街。 他のエリア（スーパー、病院、体育館、ホームセンター、美術館、駅、空港等）にも行き易い街。
中町に100円ショップがあるだけで人の流れはできると思う。また大通り側にもコンビニがあると車なしでも暮らし易い街になると思う。 但し、駐車場がないと商売的には成り立たないと思われる。
中町にはスーパーが無いので、コンビニの利便性と生鮮食品やお惣菜を扱うスーパーを組み合わせた都市型小型店舗（例：マルエツプチ、まいばすけっと、ミニコープ等）があると良い。 高齢者にとって少し離れたスーパーに行くのも大変なはずなので。
酒田大火以降に作られた古い空きビルや廃墟はこれからも増えるだろうし、再利用しようにも老朽化などによりコストに似合わない補強やリノベーションをしなければならないならいっそ市側が大きな補助を出して解体して欲しい。解体費コストはこれからも上がり続けるだろうから今が一番安いはず。
中町を変えるならその中に酒田祭りの時にも大きく寄与出来る街の大通りやイベントスペース・駐車場などを設計してほしい。区役所前の通りの道路拡張も一向に進まないし、車での移動や駐車をもっと加味しての街づくりが必要かと思います。
酒田の冬を乗り切る施設や街づくり設計をしてほしい。
中町に酒田祭囃子の各グループが練習する室内や屋外練習場所があっても良いのでは？街にうっすらと祭囃子が聞こえる雰囲気などがあってもいい。せっかくの横笛や太鼓が年に一回しかお披露目がないのはもったいない。

書き込み内容
日本各地の災害や犯罪の増加、首都圏にしても暮らしにくさが近年著しい。そうした中で酒田出身者が帰りたいな、戻るのも有りかと思う街づくりが必要で、その為にも庄内の内需を伸ばし、住みやすく暮らしやすいエリアにする為にはリノベではなく古い空きビル・空き家は解体が必要と考える。
リノベーションは残す価値がある建物には賛成だが、これからの暮らし方にそぐわない寿命の建物やアスベスト全盛期に作られた建物がより廃墟化すれば負の遺産として子供達の時代に引き継がれてしまう。計画的に早期取り壊しをお願いしたい。
建物はできる限りリファイニングなど建物の寿命を延ばし、将来解体するときの効率化やリスクの軽減をした方がいい。 酒田大火の復興の象徴としてある程度建物は残りつつ現代の生活にあった都市空間を生み出したて欲しい

Ｑ４ 居心地がいい場所のアイデア

書き込み内容
とにかく若い人を呼び込みたい そのためには有名インフルエンサーを移住させて活性化させるべし
POP－UP店舗でもいいので無料で出店できるようにする。
「常連」がいて、店主と話しながらお茶が出て来て…そういうお店だと、時間がいくらあっても足りないし、買うつもりなくても通いたくなってしまう。趣味系のお店が集まるエリア、建物なんかがあれば、市民はもちろん遠くからも人が来てくれる要因になると思う。
読書カフェの設置 余白とリラックスできる空間づくり 無料Wi-Fi・電源あり／読書席 地元高校・大学との本棚 コラボ（おすすめ選書） 勉強、ひとり時間、語らいの場に 商業的でない“静かな居場所”の提供
【商店街からの意見】 中町モールの噴水には夏の時期、自然と人が集まる。周りにイスやテーブルを置くと、もっと過ごしやすい空間になるだろう
【商店街からの意見】 中町モールを市道でなくすることで、イベントなどにもっと便利になる
みんなが集えるような公衆浴場があればいいと思う。ゆったり、ゆったり、お友達や家族と語らうのも良い。風呂上がり中町商店街の美味しいジェラード食べたり、ラーメン食べたりセットで楽しめる。
「狙ってつくる」のでなく「なっていく」感じだといいなぁと感じてます！でも、マーケティングとかデザインのプロとか考えればそうゆうのも「ねらって」できんのかなー？ いそがないほうがいいと思う！なんとなく！

書き込み内容
みんなが集えるような公衆浴場があればいいと思う。ゆったり、ゆったり、お友達や家族と語らうのも良い。風呂上がり中町商店街の美味しいジェラード食べたり、ラーメン食べたりセットで楽しめる。 夏の噴水の時期限定に噴水のそばにブレバブの店(アイスやかき氷、その他ジュースや食べ物が食べられる)簡易的な店を作るそして周辺にテーブルやイスを設置したらそこへ親子や観光客が来ると思う！価格はたくさん気軽に来れるようになるべく安めに！店舗は酒田の有名な店や中町の店がいいと思います！ 日常での用事がある場所になれば行きます。役所、病院、買い物、出勤、今日の夕飯など。また帰りやすければなお良いです。代行タクシーの人手不足で夜中町から帰るのはひと苦労です。 学生は休日や放課後に中町に行く用事がないので大学関連施設を設置するか、アルバイトの推奨をすると寄るはずです。 ■コンセプト：「時間帯で顔が変わる緑側テラス」 ■導線 朝：高齢者が集う 昼：若者がWi-Fiで勉強・仕事 午後：世代毎の休憩 夜：各種イベント ■実現手段 ・空き店舗「時間貸しカフェ＋サロン」 ・運営は地域ボランティア＋学生インターン ・地産食材を軽食提供ー地産地消のハブ かつての喫茶店のように世代が気軽に集える「緑側テラスカフェ」創設。朝は高齢者の井戸端、昼は学生や若者のワーク・読書スペース、午後は子連れの親世代、夜は世代混在の交流会。用途を時間帯で変化させ、買い物や通学・通院のついでに立ち寄れる場所にすることで、中町を“第二の居間”として再生。 夏は暑さ、冬は寒さを避けられるランドマークが見えるカフェ（スタバやタリーズのような）で好きな音楽を聴いたり、雑誌を読んだりしてゆっくり過ごしたい。 また近隣美術館のギャラリー（出張スペース）を作って、市民が足を運んだり休んだりすることができる場所があると良い。 酒田には市街地に温泉がない。なので中町に大きい温泉施設があれば中心地に人が集まるのではないかな？温泉ならば夏冬関係なく人は集まる施設かと思います。併設でイベントスペースや飲食などもあればより多くの人が利用出来る予感がします。 歩道にちょっと休める悪天候でも座面が汚れないベンチやテーブルがあると学生や散歩する高齢者などが休める。 スーパーがほしい同時に郊外にはあるが中心街にないホームセンターは必要では？徒歩で行けるので便利だと思う。 中央公園に、日差し、雨、雪を避ける大屋根とベンチを設置し、いつでも使える休息場所やイベントできる空間に変える。 酒田市の中心部に、子供も大人も楽しめる施設がほしい。例えば、今は暑さ、クマなど外で遊ぶのにも危険が多い為、天気にも左右されずに、遊べる東北最大級室内遊具場があれば、酒田市民以外でも、行きたい！楽しそう！となる。祖父母も一緒に来て、くつろげるソファ等あったら、そこで交流もできる。 商店街にぶら下がる風化してボロボロのれんは外した方が良くと思います。使えるものは店内にいれるなどして対応とか。商店街を通る度気になり、さびし気持ちになります。 毎週日曜祝日午後（晴天時）は中通り商店街を歩行者天国として中町に人が集まるきっかけを作る。日和山公園や山居倉庫など散歩する人が休める場所があると良い。 みんながが遊べる場所を作ること、子供と大人どちらも居心地の良い場所になると考えた。 自分が考える清水屋利用法案 施設名 「モシェア/Moshare」 施設のコンセプト ノスタルジーとイノベーションの融合・買い物の場のアップデート 施設の内容 マリーン5清水屋の良い点を活かして、新たなテナントを加え、市民や観光でやってきた人が集まる モシェア…もしえの一＋シェア

Ｑ５ まちなかグランドデザイン（案）を読んでの意見

書き込み内容
中町の商店街を活用して企業チャレンジをする環境を整える案が良かった。 ・清水屋の暫定利用して開発してゆくことも一理ある。 改善点 ・大学生が暮らすとしても、公益大や産業短大からは遠い。 提案 る んるんバスの大学線の路線と停留所の見直しを入れて欲しい
4頁【中心市街地5つのエリアの特徴】 「利用者」の記載レベルが揃っていないので、居住形態で「居住者」「移住者（新規居住者）」「観光客（非居住者）」、年齢層で「高齢者」「成人・壮年層」「若者(大学生、若手社会人)」「中高生」「子供」等で分類すると分かりやすい。
17頁 6.目指すまちの姿 中町に都市機能を集約して利便性を上げる取り組みは良いと思う。「コンパクト・プラス・ネットワーク」「ウォークアブルシティ」が何か注釈を追記するとわかりやすい。 なお、他都市と差別化の上でも「市民にとっての”ハレの場”」の視点を考慮することも重要と考える。
4頁【中心市街地5つのエリアの特徴】 「山居倉庫周辺エリア」にも宿泊施設はある。また「〇〇作成」等の出典元を記載した方が良い。
具体的な施策にあたっては、メリットやデメリット、進捗状況を公開して透明性を確保しながら、時には公開プレゼンテーションや意見交換なども実施して地域住民の意見が反映されると良い。
目指す街の姿② 外来の武士（徳尼公の遺臣）が地域の中核として三十六人衆となった様に、外部の有望な人材を酒田に呼び込んで又は呼び戻して人材を集め、事業化等を図る取り組みがあっても良いと思う。
山居倉庫の使い方で、岸洋子さんと中島さんゆかりのゴジラと吉野弘さんの記念館スペースに使ってみては、どうでしょう。 世界的にゴジラは、有名ですし、酒田ゆかりの岸洋子さんと吉野弘さんは、全国的に有名ですね。 ホテルに活用すると、せっかく、国の文化財が、台無しになると思いますよ。
中町商店街をシェアハウスでなく、市外の若者・学生が安く泊まれるゲストハウスにした方が良くと感じた。ゲストハウスには、商店街に集まった人が無料で休憩できるスペースも兼ねて、若者が若者を呼ぶ循環が生まれるといい。
中町商店街でのチャレンジショップの案がとてもいいと思った。サンロクで創業や新規事業の相談受付→中町商店街で小さくやってみるという流れができる。

【参考資料2】 市民アイデア集－施策の種－

!!! 酒田市がやりたいと考えていること

01

「まちづくりプレイヤー育成（仮称）」



概要

中町エリアの再生・まちづくり・未来について考え、行動する人材を育成するため、中央や先進地域などで開催されているまちづくりや市街地再生系の講座に参加する意思のある人に対し、研修参加関連費用の一部を助成する制度を創設する。

期待される効果

- ・ 中町エリアの再生・まちづくり・未来について主体的に考える人材の育成
- ・ 派遣された人材から周囲の関係者などへの知識等のフィードバック、全体のレベルアップ
- ・ まちなかエリアプラットフォーム（仮称）の新たな「仲間」となる民間プレイヤーの発掘につながる

【参考事例1】 大家の学校

不動産や賃貸物件の「大家」、場づくりの専門家など、最先端で活躍する講師陣による講義を通じて、場づくりと関係のデザインを学ぶ学校。

全国から集まる受講者とのコミュニティの形成も図られ、そのネットワークを通じた全国のまちづくりプレイヤーとの交流や、情報取得も期待できる。

【参考事例2】 都市経営プロフェッショナルスクール

公民連携事業に関わる基本的な考え方や知識、先進地域のケーススタディからそのプロセスを学ぶ「基礎課程」と、基本を理解した上で、個別目的に特化し、更なる専門的な深掘りと実践を狙う「専門課程」から成る。

いずれも先進事例を実践した「公務員」「議員」「建築家」「事業家」らがコーチとなり、eラーニングと実地研修を組合せ、同時に実践にも繋げる日本初の画期的なプロフェッショナルスクール。

旧マリーン5 清水屋の一部を暫定利用してみる



概要

旧マリーン5 清水屋を現状のまま暫定利用し、その間に段階的に開発していく。例えば1階のみ、一部のみでもいい。「まちに開く」ことから始める。

期待される効果

- ・ 中町エリアの中心に「居心地のいい場所」が再び出現する
- ・ 廃墟化による周辺への悪影響の軽減
- ・ 暫定利用しながら、今後の用途、施設全体の方向性を考えることができる

目指すまちの姿

- ③ 居心地が良く、さまざまな人々が集い・憩う

類似意見、別案など

「解体する」

「減築など大規模にリノベーションして利用」

【利用する場合に想定している用途】公共スペース（公共施設集約）、商業施設（スーパー、コンビニ）、集合住宅、大規模（平面）駐車場、子育て関連施設（学童、塾）、高齢者関連施設など

[参考事例1] 広島県福山市
「itiSETOUCHI（イチセトウチ）」

旧そごう百貨店の1階のみを民間企業に委託して暫定利用している。土地は市に寄贈され、建物は市が買い取り。マーケット、フードコート、コワーキングスペース、オフィスなどが入居。市から事業者への貸付期間は7年で、その間に施設全体の活用を検討するという建て付け。現在2階部分の利用希望を募っている。

[参考事例2] 岩手県花巻市
「マルカンビル」

中心市街地にあったマルカンデパートの閉店後、榊上町家守舎が営業を引き継ぎ、6階の「マルカンビル大食堂」の営業を継続し、1階には土産品店をオープン。その後2階には花巻おもちゃ美術館、地下にはスケートボードパークがオープンした。3階～5階は使用せず。耐震補強は建物の四隅を中心に耐震壁を増築。



大学生が暮らすまち「中町エリア」の実現



概要

店舗兼住宅や空き家などをリノベーションし、学生向けのシェアハウスをつくる。大学生のまちなか居住を推進する。

期待される効果

- ・ 学生が暮らし、まちを利用することでの活性化
- ・ 未利用不動産の活用
- ・ サンロクなど「中町エリアでの学び」への大学生が関与する機会の増加

目指すまちの姿

② 次代の酒田を担う多様な人材を育てる

類似意見、別案など

「高齢者と学生（若者）が一緒に暮らす」
「住むことで他の世代と交流が図られる」
「学生はだいたい家賃3万円～4万円」
「市内企業の若手職員向けシェアハウス」

【参考事例1】山形市 「山形クラス」

山形県、県住宅供給公社、山形市などが主体となり、中心市街地の空きビルや空き家をリノベーションして「準学生寮」を整備。七日町の空きビルには女子学生が、戸建ての空き家には男子学生が入居。



【参考事例2】群馬県前橋市 「シェアフラット馬場川」

商店街の空きビルをリノベーションし、1階にテナント、2階、3階に学生用シェアハウスを整備。

学び・起業に直結するチャレンジしやすい環境



概要

サンロクなどで学んで起業した人が、本格出店前にチャレンジしやすい環境（チャレンジショップ、シェアキッチンなど）が必要

期待される効果

- ・ 学びとチャレンジの直結
- ・ 起業のステージ、生業の創出
- ・ 働きながら暮らす、職住近接の実現

目指すまちの姿

- ① 暮らしたくなる（働きながら暮らせる）、起業したくなる（起業しやすい）
- ② 次代の酒田を担う多様な人材を育てる

類似意見、別案など

「ビジネスコンテストで優秀な案にはチャレンジするための物件を紹介」

「新しい事業創発を行うプログラムを実施し、実践する場」

「空き店舗をリノベーションし、月単位で借りられるシェアショップやポップアップスペースに」 など

【参考事例1】 奈良県奈良市 「もちいどの夢CUBE」

商店街内の空きスペースを利用した、ガラス張りのチャレンジショップの集合体。ガラス張りの外装は、商店街既存店舗との視覚的ゾーニングに効果を発揮。「ここでチャレンジしている人がいる」ことを周りに示している。



【参考事例2】 広島県福山市 「Little Setouchi（リトルセトウチ）」

福山駅前の伏見町エリアにあるシェアキッチン。リノベーション物件。曜日固定で借りることができ、使用後の清掃は使用者が徹底することをルール化することで、管理人は常駐せず低料金で利用可能。飲食営業、菓子製造業の免許を取得しているので、つくったもののWEBやイベントでの販売も可能。





キーワード（その他の意見）



寄せられた意見からピックアップしたキーワード（さかポス編）

【旧清水屋関連】

「**暫定利用**」「解体」「リノベーションの限界」「温浴施設（温泉・公衆浴場）」「開業医が利用できる『医療モール』」「屋内遊戯施設」

【商店街関連】

「さまざまな世代が利用（交差）する（時間で利用者が変わる）まち」「中町を縁側的に活用」「マルシェ」「歩行者天国（時間限定）」「中町に学生が利用できるゲストハウス」「オフィス誘致」「サブカル（チャー）系の店」「読書カフェ」「噴水広場の活用（ベンチを置くなど）」「ニーズ調査が必要」「まとめて再生（1か所だけではダメ）」「レンタルショーケース」「住んでいる人の声」「**チャレンジショップ**」「**チャレンジしやすい環境**」「**シェアハウス**」

【エリア全体】

「高校生がデートできるまち」「大規模（平面）駐車場」「駐車料金の無料化」「中央公園の活用（駐車場・コンテナ）」「買い物対策」「公共施設集約」「大学関連施設」「歩道にベンチやテーブル」「学校や教育機関」「街路樹を植える」「スーパー、コンビニ、100円ショップ」「子育て関連施設」「歴史と文化」「体験型施設」「医療機関」「ジム」「観光、インバウンド、おしん、市民ガイド」「一方通行廃止」「パーキングメーター」「関係人口を増やす」「“ハレの場”のDNAを残す」「食を中心にしたまちづくり」「支える」「見守る」「山車、祭ばやし」「災害に強い」

【居住関連】

「ゾーニング」「集合住宅（マンション・アパート）」「居住人口増加」「職住近接（一体）」「高齢者が住みやすい」

【その他】

「『酒田市がなんとかしてくれる』ではない。民間主導で行政はサポートする例が伸びている」「スピード感」



キーワード（その他の意見）



寄せられた意見からピックアップしたキーワード（市民アンケート自由記載欄編）

「旧清水屋の再生・価値向上」「スーパーなど日用品が揃う店」「広い平面駐車場」「無料駐車場」「飲食店」
「歴史・文化」「バスなど交通手段の充実」「防災特区・防災施設」「子どもが遊べる場所（屋内遊戯場など）」
「大きな公園が欲しい」「地域の人と交流しながら利用できるエリア」「若い世代が働く・遊ぶ場所」「シニア層が
安心して暮らせる」「安心して子育てができる」「学生のサードプレイス（第3の居場所）」「空き家や空き地の活用
（リノベーション）」「歩行者専用エリア」「イベントができる広場」「温泉（温浴）施設」「映画館（山形市の
ような）」「書店」「子ども食堂」「スペース貸し、小さな店の集合体」「学生が利用しやすい価格帯の飲食店」
「起業を志す人がチャレンジしやすい環境」「テラスがある飲食店」「有名アーティストの作品を展示する」
「大学生の居住空間」「開催頻度の高い朝市」「大学の学部を移転」「サテライトキャンパス」「職場、学校、
住居が密接」「暮らしながら、働き、学べる場」「子どもが職業体験できる施設」「子育て世代、若者をターゲットに」
「中心部に学校（高校）を」「企業があれば人も来る」「木陰でのんびりお茶」

第3回タウンミーティングin酒田ーみんなで考える、まちなかの未来 開催報告

【共通する視点】

- ・旧清水屋の活用が全体を通しての共通テーマ
- ・中町エリアの歴史的資源を活かすことへの関心が強い
- ・市民・民間主体のまちづくりと、行政の役割分担を意識した提案が多い
- ・観光だけでなく、市民の日常・居場所・交流の視点が組み込まれている



▲5グループに分かれて白地図を見ながら意見交換

○第3回タウンミーティングin酒田 概要

日時／8月31日（日）14：00～16：00

場所／いろは蔵パーク内「無印良品 まちの保健室」

参加者／事前募集20名+当日参加10名

パネリスト／

菅原 脩太 さん【空き家／こ家プロジェクト理事長】

齋藤 知明 さん【酒田コミュニティ財団会長／サンロク】

藤田 篤子 さん【本市への移住者】

佐藤 圭 さん【大学生／東北公益文科大学】

齋藤 徹平 さん【(株)良品計画／無印良品酒田 店長】

古谷 信人 さん【(株)良品計画／ソーシャルグッド事業部】

ファシリテーター／栗本拓幸【(株)Liquitous CEO】

キーワード

旧清水屋活用 / 多機能空間 / ゲストハウス /
中町の歴史 / おしん / 山居倉庫 / 日和山 /
体験型観光 / 匠ののれん街 / 市民ガイドカ
子育て世代の居場所 / 若者の滞在 / 歩きたくなるまち
民間主導 / 行政のサポート / 空き店舗活用 /
“よくきたねー”のまちづくり

【各グループから頂いたご意見の概要】

① 旧清水屋の多機能化と市民・観光の交差点に

こども・おかあさん達が遊んで休める場所

多様な店舗が集まる複合空間としての利活用

温泉風の施設・美術館・体験型観光拠点などの案も

市民がどう関わるか＝市民参加による空間づくり

② 中町・庄内の歴史と文化の活用

山居倉庫・日和山・「おしん」などの歴史資源を体験型で再構築

文学作品（ねじめ正一「風の棲む町」）を活かしたまちの物語化

「よくきたねー」という言葉に象徴されるあたたかさ・市民性を観光資源に昇華

③ 若者・学生も関わる「滞在できるまちなか」

学生が仲間と滞在できるゲストハウスの整備

中町に歩きたくなる仕掛け（回遊性）

駐車場整備やるんるんバスの路線変更と拠点化

④ 市民主体による観光対応力の向上と創造的空間の再生

市民の「観光客への対応力」＝ホスピタリティの醸成

「匠ののれん街」や「中町美術館」など、文化・手仕事を軸にした体験型施設

中町で「来てよかった」と言われるための**“温かさ”の演出**

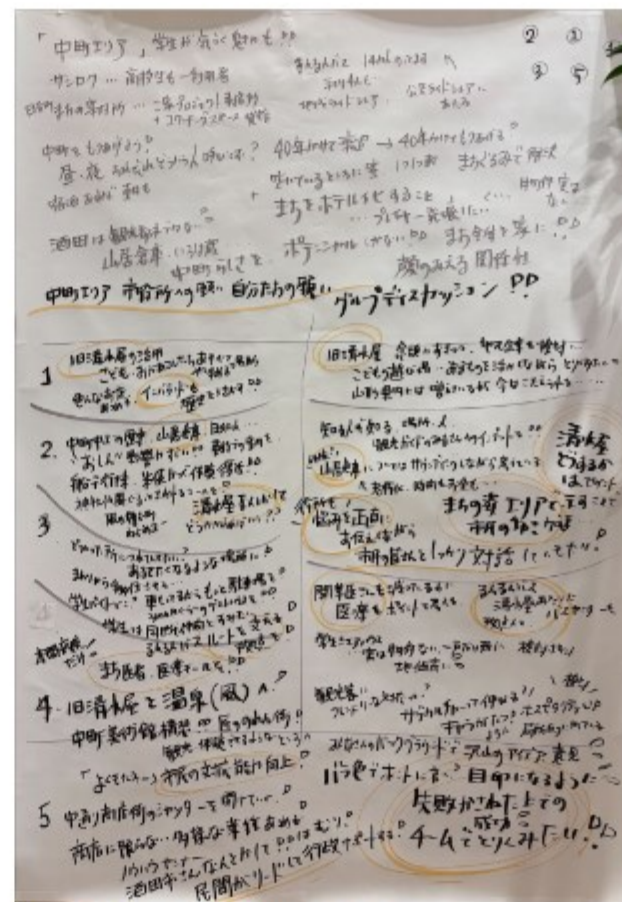
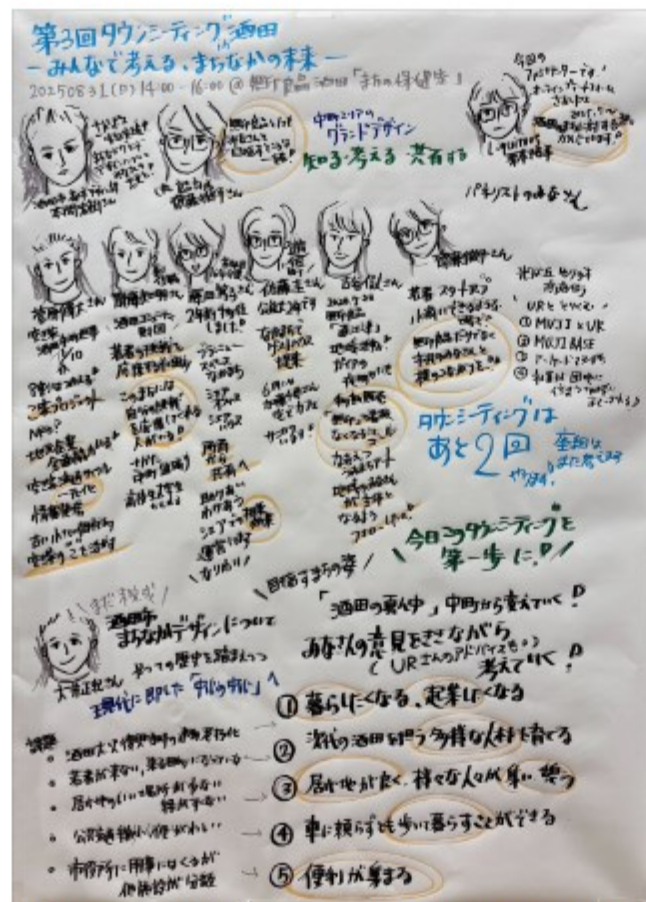
⑤ 中通商店街の再起動と多業種誘致

商店街のシャッターを開けることから始める

商業に限らず、多様な業種・活動主体の誘致

「酒田市がなんとかしてくれる」は終わり → 民間主導で行政はサポート役へ

タウンミーティングin酒田 グラフィックレコーディング内容



グラフィックレコーディングは、対話の内容をリアルタイムで図やキーワードを使って可視化する手法です。
話し合いの流れや意見のつながりを分かりやすく整理し、参加者全員が共通認識を持ちやすくなります。

第4回タウンミーティングin酒田ーみんなで考える、まちなかの未来 開催報告

○第4回タウンミーティングin酒田 概要

日時／11月29日（土）14：00～16：00

場所／いろは蔵パーク内「無印良品 まちの保健室」

参加者／高校生、大学生 約30名

形式／インプット、グループワーク、アイデアソン形式での発表

参加者は5グループ（A～E）に分かれ、

「中町にどんな未来があれば、日常的に人が集まるか」

をテーマに議論。

実現性よりも“妄想力”を重視してアイデアを出し合った。

グループ発表の概要（A～E）

【A】酒田食べ歩きロード→ 回遊性とにぎわい創出を重視

- ・中町を「年中お祭りのように楽しめる場所」へ
- ・約60店舗規模の食べ歩きエリア構想
- ・ゴミ箱設置、キャッシュレス対応、ポイント活用など運営もセットで検討

【B】中町セントラルパーク→ 滞在と安心感を重視

- ・旧清水屋跡地などを活用し、緑と公園機能を導入
- ・市民がリラックスできる“まちなかの余白”

【C】若者の日常の居場所→ 日常性と若者視点を重視

- ・高校生・大学生が「理由なく来られる」場所の必要性
- ・無料・低コストで長く過ごせる公共的空間

【D】温泉パーク×学生の秘密基地→ まず動かす・混乱を起こす発想

- ・空き店舗を学生に開放し、実験的に使う
- ・温泉・サウナを核に長時間滞在できる施設

【E】フードタウン in 中町→ 安さ・気軽さ・居心地を重視

- ・フードコート+多目的フリースペース
- ・買わなくても使える／持ち込みOK
- ・世代を時間帯で住み分け

【全グループに共通する論点】

A～Eすべての発表から、次の点が共通して浮かび上がった。

1. 若者が日常的に使える居場所が不足している
2. 消費しなくても滞在できる空間が必要
3. 完成度よりも、まず何かを始めることが重要
4. 交通・アクセスはすべての前提条件
5. 世代は分けず、時間帯で自然に住み分けるという発想

発表後、コミュニティ財団の皆さまからもコメント・提案があった。

- ・夜のまちづくりの可能性
- ・お金が回る仕組みとしての「夜」
- ・若者が集まり、オープンに語り合える場所の価値
- ・温泉や夜の居場所が持つ包摂力

これらは、各グループの提案とも重なり、「中町を“使われ続ける場所”にする」という方向性を後押しする意見となった。

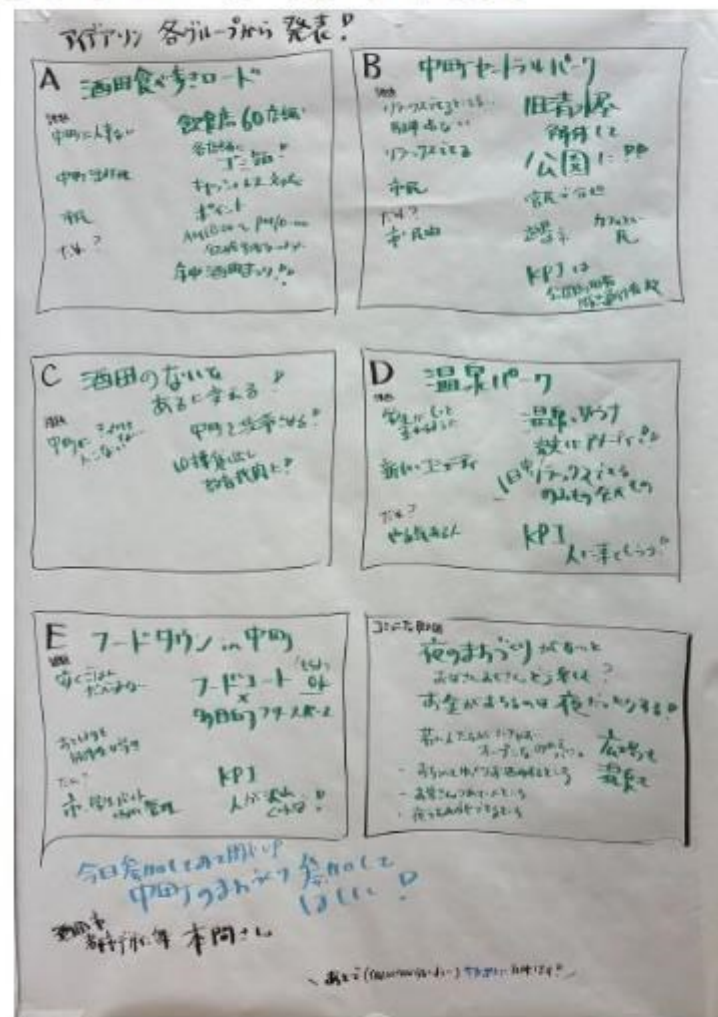
今回のタウンミーティングでは、
「市民一人ひとりの視点」「若者のリアルな感覚」
「実験的でもまず始めるという姿勢」が可視化された
中町のまちづくりは、「正解を決めること」ではなく、みんなで
関わり続けるプロセスそのものであることが確認された



▲グループごとにアイデア発表



▲グラフィックレコーディングで可視化



 Liquitous **3**

【参考資料 4】 市民アンケートの結果

令和 7 年 1 1 月実施

中町エリアのまちづくりに関する 市民アンケート調査 結果報告書

【 目次 】

1	調査概要	1
2	質問事項	2
3	調査結果の概要	2
4	回答集計結果	7

付録 アンケート調査票

令和 8 年 1 月

酒田市企画部都市デザイン課

1 調査概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、令和7年度に策定を予定している「酒田市まちなかグランドデザイン」の基礎資料とするため、中町エリアのまちづくりに関する市民の皆様の考えや意見を把握することを目的として実施した。

(2) 調査票の配布部数

1,000部（「16歳～49歳」500部、「50歳～79歳」500部）

(3) 調査対象者の抽出方法

令和7年9月1日時点で16歳以上79歳までの市民（外国人を除く）を対象とし、各小学校区の年齢グループ（「16歳～49歳」「50歳～79歳」）ごとに無作為抽出により調査対象者を決定した。

調査対象者は下記①～⑤の手順に従い抽出した。

- ①各小学校区の16歳～79歳の人口割合で各小学校区のアンケート配布数を算出する。
 - ②中町エリアに属していない学区の配布数を10%減らす（奇数になった場合さらに1減）。
 - ③中町エリアに属している琢成学区、浜田学区の配布数に②で減らした数を分配する。
 - ④各小学校区の配布数を2分割し、年齢グループの配布数とする。
 - ⑤各小学校区で年齢グループごとに無作為抽出により調査対象者を決定する。
- ※飛島学区の配布数は、人口割合で算出できないことから各年齢グループ1部とする。

(4) 調査方法

調査対象者にアンケート調査票を郵送し、同封の返信用封筒にて回収した。

併せて回答フォームを作成し、インターネットによる回答も可とした。

(5) 調査の期間

令和7年11月7日（金）から 同年11月28日（金）まで

(6) 回収件数

323件 回収率32.3%

内、アンケート用紙返送による回答 169件

インターネットによる回答 154件

2 質問項目

問 1 年代を教えてください。	問 8 今後、中町エリアの再生に向けた取組を継続していくことについてどのようにお考えですか？
問 2 お住まいを教えてください。	問 9 協働してまちづくりを実践していく場があれば参加してみたいと思いますか？
問 3 あなたが住む場所を選ぶ際に重要だと感じる要素は何ですか？	問 10 中町エリア再生に向け、行政と民間が協働して取り組むことについてどう思いますか？
問 4 あなたと中町エリアとの関わりを選んでください。	問 11 あなたが市民として中町エリア再生のために協力できることはどのようなことがあると思いますか？
問 5 現在の中町エリアについてあなたが感じていることを選んでください。	問 12 中町エリアについてご意見があれば記入してください。 (問 7 で「関心がある」と答えた回答者)
問 6 あなたは中町エリアがどのような場所になると良いと思いますか？	問 13 中町エリア再生のためのまちづくりに関心がない理由を教えてください。 (問 7 で「関心がない」と答えた回答者)
問 7 あなたは中町エリア再生のためのまちづくりに関心がありますか？	問 14 中町エリアについてご意見があれば記入してください。 (問 7 で「関心がない」と答えた回答者)

3 調査結果の概要

(1) 回答の傾向 【質問項目 問 1～問 8】

- 対象者は年代が偏らないよう抽出したが、若年層からの回答が比較的少なく、最も回答率が良かったのは 70 代以上だった。(→ 7 ページ)
- 回答者の住まいは、市街地地区が 214 件 (66.3%)、川南地区が 43 件 (13.3%)、北部地区が 28 件 (8.7%)、総合支所地域が 37 件 (11.4%)、飛島地区・その他 (遊佐町) が 1 件 (0.3%) であった。また、中町エリアに属している琢成学区、浜田学区は 70 件であり全体の回答に対して 21.7% であった。(→ 7 ページ)
- 住む場所を選ぶ際に重要と感じる要素について最も多かったのは「徒歩圏内に日用品などが買える商業施設 (スーパーなど) がある (24.4%)」、次いで「一戸建て (敷地内駐車場あり) (17.0%)」であった。若い世代では、職場に近いこと、カフェや公園などの居心地がよい場所が近くにあることが重要であると回答した割合が高かった。(→ 8 ページ)

- 中町エリアとの関わりについては最も多かったのは「あまり行かない (46.8%)」であったが、10代・20代では買い物や食事に行くなど関わりがある回答数が多かった。(→9ページ)
- 現在の中町エリアについて感じていることについて、最も多かったのは「空き店舗や空き家が増え、衰退していると感じる (31.7%)」、次いで「人通りが少なくなり昔に比べて魅力が薄れたと感じる (27.7%)」であった。(→10ページ)
- 回答者が考える将来の中町エリアの姿について、全世代で「居心地のいい場所 (家族や友人との遊び場や語り場がある場所、緑道など緑豊かな場所など) (29.0%)」の回答が最も多かった。60代以上では、交通の便が良い場所や都市機能が集まる場所と回答した割合が高かった。(→11ページ)
- 中町エリア再生のためのまちづくりへの関心の有無について回答者の78.0%が「関心がある」と回答した。特に10代・20代では関心があると回答した割合が高かった。住まい別の集計結果では「関心がない」と回答した割合は、市街地地区在住 (15.4%) に対し、北部地区在住 (35.7%)、総合支所地域在住 (27.0%) と市街地から離れると関心がないとする割合が増える傾向であった。(→12ページ)
- 中町エリア再生のためのまちづくりに「関心がある」と答えた回答者のうち、中町エリア再生への取組について「継続して取り組むべき」と回答したのは96.4%であった。「継続して取り組むべき」と回答した理由として、最も多いのは「空き店舗や空き家もったいないと感じるから (37.4%)」、次いで「中町エリアが酒田の中心、酒田の顔だと思うから (30.8%)」であった。(→13ページ)
- 中町エリア再生への取組について「取り組む必要はない」と答えた理由として、最も多いのは「中町エリアを利用する機会がほとんどないから (36.8%)」、次いで「商業の環境が変わり、以前のような賑わいは戻らないと思うから (26.3%)」であった。(→13ページ、18ページ)
- 問8では中町エリアで取り入れてほしいアイデアや提案を募集し、テーマごと次のようにまとめた。(→14ページ)

1. 駐車場・アクセス改善

無料で停めることができる広い駐車場を増設することで、中町エリアへのアクセスが改善し集客力が高まるのではないかという意見が多く寄せられた。

2. 商業施設・飲食店の充実

若者・子育て世代向け施設、カフェ、レストラン、低価格の飲食店など、若者や家族向けの商業施設を誘致し、市民が集まる場所を作ってほしいという意見が多く寄せられた。

3. イベント・交流施設の充実

地域の活性化に向けて、地域フェアや体験型イベント、季節ごとのイベント (例：台湾フェア、ラーメン博物館) を開催し、来街者を引き寄せる提案があった。また、さまざまな世代が集まりやすい施設として、カラオケやコワーキングスペースの設置を望む声も寄せられた。さらに、イベントスペースとして空き店舗を活用することが、地域の活性化に貢献するのではないかと意見もあった。

4. 歴史・文化・観光地化

酒田の歴史や名物を生かした観光地化を進め、江戸文化、文明開化、昭和レトロなどのテーマに沿った町並みを形成することが提案された。また、旧清水屋の建物を活用することで、観光資源や歴史的価値を最大化できるのではないかという意見があった。さらに、街歩きコースの整備や、酒田ならではの人材を活用したガイドの実施を通じて、中町エリアの魅力を引き出すことが求められた。

5. 若者・学生向け施設

学生向けのコワーキングスペースやカフェ、若者向けの遊び場を設置し、雨や雪の日でも集まりやすい環境を整備することが求められた。また、起業を志す若者を支援するため、安価な家賃で店舗を提供するなど、起業しやすい環境の整備が提案された。

6. 住宅地・住環境の改善

空き家や空き店舗を整理し、住宅地として再生することで、子育て世代や高齢者が住みやすいまちづくりを進めるべきだとの意見があった。また、市民が住みたいと思えるまちを作り、賑わいを取り戻すことが求められた。

7. 空き店舗・空き地の活用

空き店舗を低価格で貸し出し、新しい事業者や起業家を誘致することが求められた。また、空き家をリノベーションし、宿泊施設や地域イベントに活用することで、地域活性化を図るべきだとの意見があった。

8. 行政の支援・地域活性化

行政が地域活性化に積極的に関与し、再生プロジェクトを進めるべきだとの意見があった。また、市民の声を反映したまちづくりを実現するため、地域活性化プロジェクトとして市民と共に進めてほしいという意見も寄せられた。

(2) 持続可能なまちづくりに向けた官民の協働について 【質問項目 問9～問11】

- 協働してまちづくりを実践していく場への参加について「参加してみたい」と回答したのは27.3%であり、「参加しない」と回答したのは17.6%、「よくわからない」と回答したのは55.1%であった。30代・40代・50代で参加してみたいと回答した割合が高かった。(→18 ページ)
- 中町エリアの再生に向けた取り組み体制について最も多いのは「官民連携で進めるべき(63.2%)」、次いで「市が主体となって進めるべき(23.8%)」であった。若い世代では、市が主体となって進めてほしいと回答した割合が高かった。(→19 ページ)
- 中町エリア再生のために協力できそうなこととして最も多いのは「中町エリアで消費(買い物、飲食など)をする(42.6%)」、次いで「イベントに参加する(31.0%)」、「ボランティア活動に参加する(11.3%)」であった。10代・20代では、他の年代よりボランティア活動へ参加すると回答した割合が高かった。(→19 ページ)

(3) 中町エリアに関する意見（自由回答）の要約【質問項目 問12、問13、問14】

- 本設問では、「問7 あなたは中町エリア再生のためのまちづくりに関心がありますか？」という質問項目に対し、「興味がある」と「興味がない」と回答した者の自由意見を収集したが、両者の意見内容は類似する箇所が見られた。そのため、設問ごとに集計結果を分けず、全体の意見を一つにまとめて分析を行った。（→20 ページ、24 ページ、26 ページ）
- テーマごと次のようにまとめた。

1. 商業施設の再生と新しい業態

中町の商業施設の活性化には、さまざまな業種の店舗や起業の支援が必要との意見があり、特に空き家や空き店舗の有効活用が求められている。清水屋跡地の再開発についても積極的な再生や新しい商業施設の建設が必要とされており、特に「人が集まる場」の創出が強調されている。

2. 若者向けの施設と施策

少子高齢化が進む中で、若者やその家族が集まりやすい施設が求められている。子ども向けの遊び場や教育的なイベント・講座など、若者やファミリー層をターゲットにした施策が重要視されている。アニメや猫などの新しいテーマを活用し、若者層や観光客を引き寄せるアイデアも提案されており、これらの要素を取り入れた新しい商業施設や文化的活動が期待されている。

3. 活気の不足と人の流れ

中町エリアは、以前は清水屋などの商業施設があり賑わっていたが、清水屋の閉店後は寂しくなり、訪れる人が少なくなったと感じる声が多い。特に夜間の人通りが減少し、活気が欠けているとの意見が目立つ。参加型のイベントや観光施設の不足、駐車場の問題が集客の妨げとなっている。特に、駐車場の整備やアクセスの改善を求める意見が多い。

4. アクセス改善と交通環境

車社会であるため、駐車場の整備と利用しやすさが最大の課題として挙げられている。広くて無料または低価格で利用できる駐車場の提供、バスや公共交通機関の充実が求められている。一方通行の多さや狭い道路についても改善が求められており、車のアクセスが容易になるような道路整備が必要とされている。

5. 地域資源と観光の強化

地元の歴史的・文化的資源（酒田大火からの復興、伝統的な建物や観光地）を生かし、観光地としての魅力を再構築することが重要視されている。特に、山居倉庫や本間家旧本邸、神社仏閣などの観光資源の活用や、アート・文化イベントの充実が求められている。特産品を生かした観光施策も提案されており、観光施設の充実とともに地域の魅力をアピールする方法が模索されている。

6. 将来のビジョンと課題

中町エリアを再生させるためには、単なる物理的な施設の再建だけでなく、民間と連携し、地域の特色を生かしたまちづくりを進めることが必要とされている。また、少子高齢化の中で、将来的な人口減少に対応したコンパクトシティの実現に向けた戦略も求められている。イベントの開催や公共スペースの整備も積極的に進め、住みやすい、訪れたいまちづくりを目指すべきだという意見が多く寄せられている。

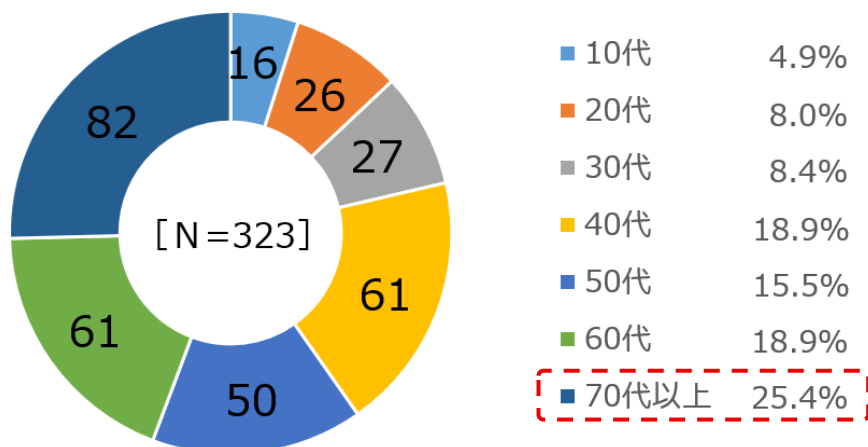
(4) まとめ

- 本調査は中町エリアの再生に関する市民の意識や意見を把握するために実施された。1,000 部の調査票を配布し、323 件の回収（回収率 32.3%）があった。回答者の年代が偏らないように抽出を行ったが、特に 70 代以上からの回答が多く寄せられた。また、回答者の多くは市街地地区に住む方々であり、最も多かった意見は「居心地のいい場所」の提供を望むものであった。
- 調査結果によると、中町エリアの再生に対する関心は非常に高く、78.0%の回答者が「関心がある」と回答した。その理由として「空き店舗や空き家の有効活用」や「中町エリアが酒田の中心であること」が挙げられた。また、再生の取り組みには官民の協働を求める声が強く、63.2%の回答者が「官民連携で進めるべき」と答えた。
- 自由意見の分析結果からは、商業施設の再生に対する期待が高く、さまざまな業種の店舗の展開や起業支援が求められた。特に空き家や空き店舗の有効活用が重要視されており、旧清水屋の建物の再開発や人々が集まる場所の創出が期待されている。さらに、若者やその家族向けの施設や施策、観光資源の活用が求められている。
- 活気を取り戻すためにアクセス改善や交通環境の整備が求められ、特に駐車場の整備や公共交通機関の充実が必要という意見が多く寄せられた。地域の歴史や文化を生かした観光地としての魅力向上が重要視され、特産品を生かした観光施策も提案されている。
- 総じて、再生に向けた民間と行政の協力を強化し、地域資源を生かしたまちづくりを進めることが必要であり、少子高齢化の進展を見据えたコンパクトシティの実現が今後の課題である。

4 回答集計結果

➤ 図表の中のN（number of cases の略）は、質問に対する回答者数であり、回答比率における 100.0% に相当する。

問1 年代を教えてください。



- 調査対象者の年代に偏りが出ないように抽出したが、比較的若年層からの回答は少なかった。
- 最も回答率が良いのは70代以上だった。

問2 お住まいを教えてください。

小学校区	回答数	小学校区	回答数	小学校区	回答数
琢成小学校	39	新堀小学校	6	鳥海小学校	14
浜田小学校	31	広野小学校	6	一條小学校	5
松陵小学校	20	浜中小学校	2	八幡小学校	8
若浜小学校	17	黒森小学校	1	松山小学校	8
泉小学校	19	宮野浦小学校	18	南平田小学校	16
富士見小学校	20	十坂小学校	10	飛島学区	0
松原小学校	37	西荒瀬小学校	5	その他（遊佐町）	1
亀ヶ崎小学校	31	平田小学校	9	計	323

- **市街地地区** 214件 (66.3%)、**川南地区** 43件 (13.3%)、**北部地区** 28件 (8.7%)、**総合支所地域** 37件 (11.4%)、**飛島地区・その他** 1件 (0.3%)

問3 あなたが住む場所を選ぶ際に重要だと感じる要素は何ですか？（複数回答可能）

項目	回答数	割合	上位					
			10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
賃貸共同住宅（アパート）	24	2.7%	3	2.9%	13	3.4%	8	2.0%
共同居住型賃貸住宅（シェアハウス）	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
分譲マンション	10	1.1%	0	0.0%	2	0.5%	8	2.0%
一戸建て（敷地内駐車場あり）	149	17.0%	11	10.8%	70	18.5%	68	17.1%
閑静な住宅街	74	8.4%	9	8.8%	35	9.2%	30	7.6%
職場に近い	71	8.1%	16	15.7%	44	11.6%	11	2.8%
学校に近い	50	5.7%	8	7.9%	27	7.1%	15	3.8%
カフェや公園などの居心地のいい場所が近くにある	58	6.6%	11	10.8%	22	5.8%	25	6.3%
公園や緑道など緑が多い	50	5.7%	5	4.9%	15	4.0%	30	7.6%
徒歩圏内に日用品などが買える商業施設（スーパーなど）がある	214	24.4%	25	24.5%	87	23.0%	102	25.7%
バス停留所が近くにある	39	4.5%	4	3.9%	13	3.4%	22	5.5%
行政機関、医療機関、金融機関などの生活利便性を高める施設が徒歩圏内にある	116	13.2%	5	4.9%	45	11.9%	66	16.6%
子育て支援センター、保育園、児童館などの子育て支援施設が近くにある	12	1.4%	3	2.9%	2	0.5%	7	1.7%
その他（自由記述）	10	1.1%	2	2.0%	4	1.1%	4	1.0%
合計	878	100.0%	102	100.0%	379	100.0%	397	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・水害が少ない場所。
- ・海が20m以上の場所。
- ・一戸建て（賃貸）。
- ・公営アパートで単身で住める。
- ・高齢者のことを真剣に考え、長生きできる場所。
- ・駐車場が併設された商業施設が近くにある場所。
- ・勉強ができる場所。
- ・雪が処理しやすい場所。
- ・治安が良い場所。
- ・老人に必要な利便性の有る高齢者のための町、ミニスーパーや消防署や警察や医療機関が近くに有る、バス停はもちろんの事、老人のための小さな家があらばと思います。
- ・災害に強い場所。
- ・海からの距離や河川からの距離、または崖や交通量や治安など、災害や事故、事件が起こりにくい環境。

- 最も多かったのが「徒歩圏内に日用品などが買える商業施設（スーパーなど）がある（24.4%）」、次いで「一戸建て（敷地内駐車場あり）（17.0%）」、「行政機関、医療機関、金融機関などの生活利便性を高める施設が徒歩圏内にある（13.2%）」であった。
- 10代・20代では、住む場所が職場に近いこと、カフェや公園などの居心地のいい場所が近くにあることが重要であると回答した割合が高かった。
- 30代以上では、一戸建てや徒歩圏内に生活利便性を高める施設があることが重要であると回答した割合が高かった。

問4 あなたと中町エリアとの関わりを選んでください（複数回答可能）。

上位 1位:赤 2位:黄 3位:緑

項目	回答数	割合	10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
居住している	18	4.4%	3	4.9%	5	2.9%	10	5.6%
通勤・通学している	22	5.4%	7	11.5%	13	7.6%	2	1.1%
買い物や食事に行く	77	18.9%	20	32.8%	29	17.1%	28	15.8%
イベントに行く（遊びに行く）	70	17.2%	16	26.2%	32	18.8%	22	12.5%
あまり行かない	191	46.8%	13	21.3%	80	47.1%	98	55.4%
その他（自由記述）	30	7.3%	2	3.3%	11	6.5%	17	9.6%
合計	408	100.0%	61	100.0%	170	100.0%	177	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・本間病院への通院や年に1回の人間ドックなど。
- ・運動施設に通う。
- ・清水屋があった時は買物で中町に行く事もあったが、今は商店街を歩くことがほとんどなくなった（物産展をやっている時は行っていた）。
- ・山居倉庫等の観光ガイド。
- ・孫が小さい頃は交流ひろばを利用していました。
- ・市役所には用事で行きます。
- ・ウォーキングをしている。
- ・以前は買物のため図書館（総合文化センター）の帰りにバスで寄っていた。
- ・酒田南高校の観光地域創生専攻に所属しているのでよく行く。
- ・行政機関を利用。酒田まつりがメイン。
- ・アイスを食べに行ったり、お菓子を買に行ったり。
- ・何年も行っていない。
- ・飲み会で利用する。
- ・銀行等必要にせまられて行くエリアになっている。以前の様に買い物に行く等はなくなった。唯一、酒田まつりの時は露店を見ながらブラブラ歩きを楽しんでいる。
- ・実家がある。
- ・仕事で中町の商店に行く。
- ・通学する際に通る。
- ・勤務地が中町エリアの近くにある。
- ・来客の観光案内で行く。
- ・行政機関（市役所）に行く。
- ・たまに飲み屋などの繁華街に行くだけ。
- ・中町の会社に入る前はほとんど行かない場所だった。
- ・週に1度、運動施設を利用している。

- 最も多かったのが「あまり行かない（46.8%）」、次いで「買い物や食事に行く（18.9%）」、「イベントに行く（遊びに行く）（17.2%）」であった。
- 10代・20代では、買い物や食事に行くなど中町エリアと関りがあると回答した数の方が多くあった。

問5 現在の中町エリアについて、あなたが感じていることを選んでください（複数回答可能）。

上位 1位:赤 2位:黄 3位:緑

項目	回答数	割合	10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
新しいお店が増え、以前よりもにぎわっていると感じる	8	1.0%	2	2.2%	3	0.9%	3	0.8%
空き店舗や空き家が増え、衰退していると感じる	259	31.7%	26	28.9%	111	31.9%	122	32.1%
歩道に植樹や花が設置され、街並みがきれいになっていると感じる	8	1.0%	1	1.1%	3	0.9%	4	1.1%
使われていない建物が増え、もったいないと感じる	206	25.2%	28	31.1%	89	25.6%	89	23.4%
まちの伝統や個性、魅力を感じることができる	18	2.2%	4	4.4%	10	2.9%	4	1.1%
まちの伝統や個性、魅力を感じられない	67	8.2%	7	7.8%	28	8.0%	32	8.4%
様々なイベントが開催され、以前よりもにぎわっていると感じる	14	1.7%	4	4.5%	10	2.9%	0	0.0%
人通りが少なくなり昔に比べて魅力が薄れたと感じる	227	27.7%	17	18.9%	89	25.5%	121	31.8%
その他（自由記述）	11	1.3%	1	1.1%	5	1.4%	5	1.3%
合計	818	100.0%	90	100.0%	348	100.0%	380	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・一方通行の見直しを考えてほしい。人も車も中町に来なくなった。
- ・閉店時間が早い店が多い。
- ・車でアクセスが不便。車が駐車しにくいので買い物に行きにくい。
- ・パイレーツビル跡地にホテルが予定されていることは良いと思う。商業的に盛り上がることを期待しています。
- ・夜の人通りも減り、本当に人がいなくなったと感じる。
- ・酒田大火以降の中町は人口減少と共に寂れてしまいました。大火以降50年となるようですが、中町周辺の店主や市長、市議会議員の方々はどうな改革改善をされたのでしょうか？
- ・旧清水屋が閉店してから周辺が閑散としています。せっかく中町にホテルが出来るので、もっとイベント等を増やしたり賑やかになるようにしてほしい。
- ・人通りは少なくなったが、新しいお店ができるなど、よく維持できていると感じる。
- ・旧清水屋を早期に利用価値を高めてほしい。酒田まつりの時に特にさみしく感じてしまう。
- ・学生時代は自転車よく遊びに行ったが、今は車移動が楽な郊外に行く事が多くなった。
- ・昭和の中町が懐かしい。
- ・高校時代（酒田商業）には放課後に同級生、部活の先輩などと集まる店、場所があったが今はない。若者が魅力を感じる場所がない。
- ・用事がないと行かない場所になった。
- ・店がない。駐車場に車を停めるのが面倒だと感じる。
- ・夏の「甚句流し」も大通りに移り、中町が衰退していると感じました。
- ・旧清水屋がなくなってから足が遠のいて現在の様子が分からない。
- ・繁華街も衰え、街そのものの危機を感じる。
- ・あちこち草だらけで近所の人は草むしりくらいしたらいいのと思う。
- ・日常品が揃う店、スーパーが無い。

- 最も多かったのが「空き店舗や空き家が増え、衰退していると感じる（31.7%）」、次いで「人通りが少なくなり昔に比べて魅力が薄れたと感じる（27.7%）」、「使われていない建物が増え、もったいないと感じる（25.2%）」であった。
- 昔の賑やかな時代を覚えている世代では、魅力が薄れたと感じていると回答した割合が高かった。

問6 あなたは中町エリアがどのような場所になると良いと思いますか？（複数回答可能）

上位 1位:赤 2位:黄 3位:緑

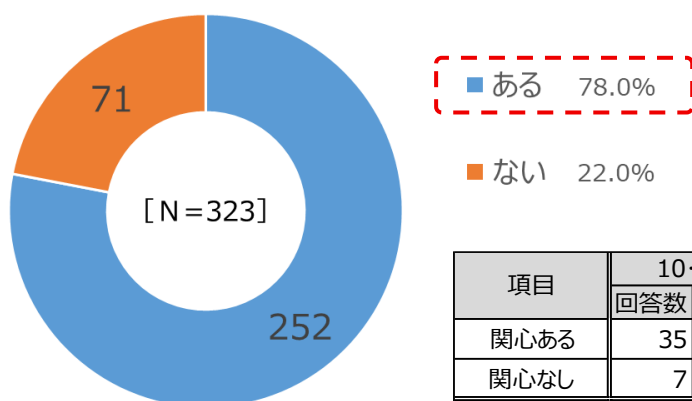
項目	回答数	割合	10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
起業を志す人がチャレンジする場所	119	16.6%	10	10.9%	52	17.8%	57	17.2%
学生（若者）が暮らし、学び、楽しむ場所	122	17.1%	25	27.5%	57	19.5%	40	12.0%
居心地のいい場所（家族や友人との遊び場や語り場がある場所、緑道など緑豊かな場所など）	207	29.0%	31	34.1%	85	29.1%	91	27.4%
公共交通の拠点となっており交通の便が良い場所	118	16.5%	11	12.1%	43	14.7%	64	19.3%
市役所、医療機関、金融機関などの多様な都市機能が集まる場所	120	16.8%	11	12.1%	40	13.7%	69	20.8%
その他（自由記述）	29	4.0%	3	3.3%	15	5.2%	11	3.3%
合計	715	100.0%	91	100.0%	292	100.0%	332	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

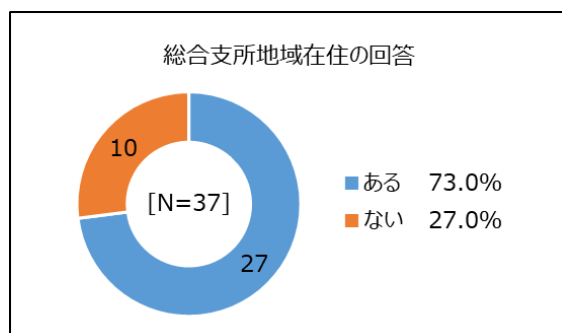
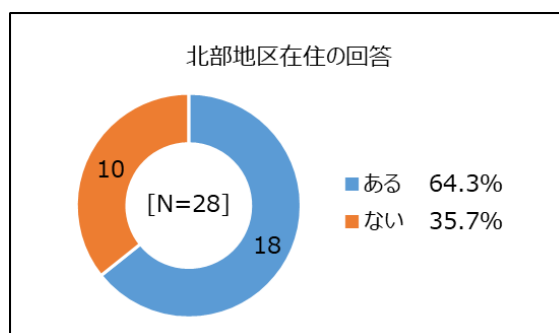
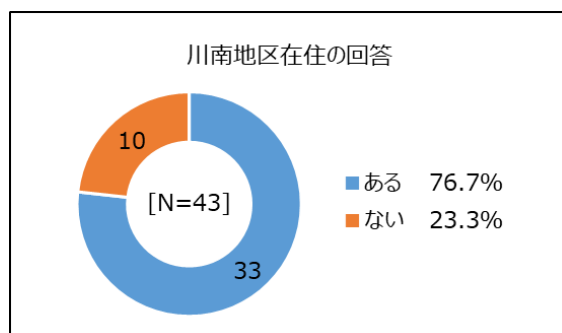
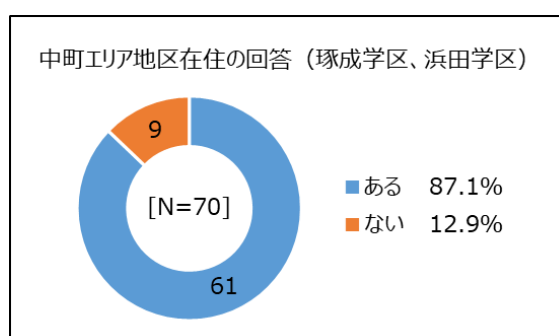
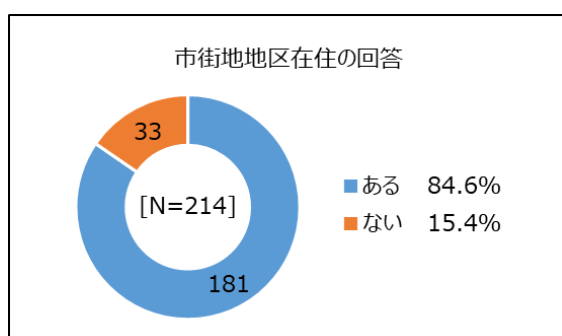
- ・今まであった商店街らしさと酒田大火の復興の象徴という魅力を活用した新たな酒田の象徴。
- ・平地で広い駐車場がある、気軽に駐車できるスペースがあるエリア。
- ・食料品スーパー、商業スーパーやコンビニを作る。酒田市の中心となるものができると嬉しい。
- ・市民が酒田に住みたいと思う場所。
- ・現代近代美術館などの複合建物の建設。
- ・学生（若者）だけではなく、高齢者・幼児が集まる場所。子どもが遊ぶ場所。
- ・独居でも生きているのが周囲にわかる町。自由に歩いて行ける距離の町。空き店舗、空き家を集合して土地を有効に使えるように。インフラも集中できるように無駄を省く構造にすること。
- ・中心市街地活性化に惑わされず、今の市民のライフスタイルに合った場所。
- ・中町近辺の人だけでなく、酒田に住んでいる人が中町へ行きたいと思える魅力ある施設の充実。楽しみがある場所。
- ・夜の交流場、飲み屋街、飲食店の充実、カラオケボックスがあるエリア。
- ・日和山公園からの通りは歴史を感じさせつつ、隣の通りはレトロ感を出すなど、酒田の歴史観が詰まった観光エリアに徹するべき。
- ・楽しいと思える場所のある所。人がまた行きたいと思う場所。
- ・駅と空港からの乗り継ぎ可能なバスや交通手段の利便性を高め人の流れをつくり、観光客は勿論、酒田への来訪者が寄りやすい場所。昼夜人流があり賑わう場所。
- ・市役所～商店街～公園～日和山～港市場と周遊して楽しめるエリアになってほしい。
- ・防災特区エリア。
- ・テーマある街にする！！勇気を持ってリセットする事も必要でとても大事。万能薬では本当に危険な時には無駄になります。
- ・寺町の所の旧7号線の拡張、整備、駅前通りとの関連付けされたエリア。
- ・飲食業がもっと活性化したエリア。
- ・郊外の大型店と差別化が必要。仲間や地域の人と交流しながら利用できるエリア。
- ・行ってみたいと思える魅力ある店が増えると良い。
- ・以前から考えていましたが縦列駐車ができ、回転の早い買い物ができる店があるエリア。
- ・若者が働く場所がたくさんあって人口が増す（増える）ようになると活性化してくるのでは？
- ・ランチできるオシャレな飲食店や雑貨屋さん、これからならクリスマスマーケットとか。

- 最も多かったのが「居心地のいい場所（家族や友人との遊び場や語り場がある場所、緑道など緑豊かな場所など）（29.0%）」、次いで「学生（若者）が暮らし、学び、楽しむ場所（17.1%）」、「市役所、医療機関、金融機関などの多様な都市機能が集まる場所（16.8%）」であった。
- 全世代で居心地がいい場所になると回答した割合が高かった。
- 60代以上では、公共交通の拠点、都市機能が集まる場所を望んでいると回答した割合が高かった。

問7 あなたは中町エリア再生のためのまちづくりについて関心がありますか？



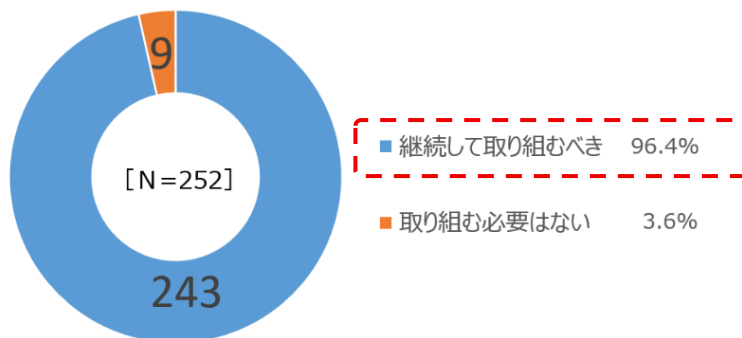
項目	10・20代		30・40・50代		60代以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
関心ある	35	83.3%	105	76.1%	112	78.3%
関心なし	7	16.7%	33	23.9%	31	21.7%
合計	42	100.0%	138	100.0%	143	100.0%



- 中町エリア再生のためのまちづくりについて関心の有無について、市街地地区在住の回答者は「ある（84.6%）」と答えている割合が高かったが、市街地から離れると、「ない」と答える割合が増える傾向があった。
- 10代・20代で関心があると回答した割合が高かった。

問8 中町エリアは人口減少や商業環境の変化などにより空洞化が進んでいます。今後中町エリアの再生に向けた取組を継続していくことについてどのようにお考えですか？

①今後、中町エリアの再生に向けた取組を継続していくことについて



②「継続して取り組むべき」と回答した理由を選んでください（複数回答可能）。

項目	回答数	割合	上位					
			10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中町エリアが酒田の中心、酒田の顔だと思うから	143	30.8%	13	24.5%	56	29.3%	74	33.5%
中町エリアが自宅から行きやすい場所にあるから（住んでいるから）	37	8.0%	9	17.0%	11	5.8%	17	7.7%
空き店舗や空き家もったいないと感じるから	174	37.4%	21	39.6%	79	41.4%	74	33.5%
公共・金融機関などの都市機能が集積している特性を生かすべきだと思うから	101	21.7%	10	18.9%	39	20.4%	52	23.5%
その他（自由記述）	10	2.1%	0	0.0%	6	3.1%	4	1.8%
合計	465	100.0%	53	100.0%	191	100.0%	221	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・中町エリアが酒田の中心ではなくなった。
- ・使われていない建物ばかりが増えてもったいないなあ〜って思う反面、どうすればいいのかは難しいと思う。
- ・今からなら広い平地の駐車スペースを確保できるのではないかと考えるから。
- ・私は平成の生まれですが、写真に写っていたあの賑わう中町を自分の目で見て体験したいから。
- ・中町エリアが酒田の中心だからというわけではなく、明らかに衰退しているエリアであること。歴史的な建造物や物語が語られそうな場所でありながらここまで衰退していく様子は悲しいを通り越して悲慘。かつての賑わいには理由があったと思われるのに、そこを重要視されず行政が心をもって立て直しにあたっていない場所と感じられるから。
- ・昔の賑やかな時代がわかるのでどうにかならないかなあと思います。
- ・中町が老人にとって居心地の良いベッドタウンとなっている。これでは若者は居つかず経済が回らない。10代～50代が楽しく住んで楽しく働ける町にしたいと10年後20年後はもっと貧しい市になると思う。
- ・近くにせっかくいろは蔵パークができたのだからそこから人の流れを作れるような町作りができそうな場所だから。
- ・そこに住まう人々、通う人々がいるから。

- 最も多かった回答は「空き店舗や空き家もったいないから（37.4%）」、次いで「中町エリアが酒田の中心、酒田の顔だと思うから（30.8%）」であった。
- 自由意見からは、中町エリアには使われていない建物が増えており、再生方法は難しいが、広い駐車スペースの確保が一つの可能性として挙げられている。かつての賑わいを目の当たりにしたいという思いがあり、歴史的価値がある場所でありながら、行政の対応が不足しているとの指摘もある。

③中町エリアで取り入れてほしいアイデアや提案があれば教えてください（自由記述）。

※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・旧清水屋の所が大きな公園等になるのも良いかと思う。
- ・独居老人でも安心して住むことができ自由に外出できる環境。子育てが安心してできる環境。
- ・人がほとんど歩いていない（遊びや散歩など）。日和山公園などもイベントがあると駐車スペースが足りない。
- ・衣類の買い物の店が無い。
- ・活気と人を取り戻さないと酒田はだめになる。市民が中町に向かうような行きたくなくなるようではいけない。
- ・自由に停められる無料駐車場が無いとイベントがあっても行かない。
- ・スーパーができれば良い。
- ・近くには日和山公園などの施設があるが、周辺に興味のあるお店がない。
- ・今まで来ていた人に加え、若い人や観光客などの幅広い人に愛されるような施設。
- ・元々あった百貨店要素に学生の第3の居場所（サードプレイス）や観光物産店や新しいテナントなど新しい要素を取り入れた商業・公共施設を作って欲しい。
- ・学生や若い人が集まれる店（場所）を集める。
- ・居住者の増加。酒田は旧3町地域を含め広大な面積であるが、除雪や学校への徒歩が出来ないなど、行政サービスや住みやすさが低下していると感じる。
- ・街なかに移住していただくこと、それを支援することが街なかの賑わいにつながってくるのではないかと考えます。
- ・空き家、空き物件の利活用。若者の起業を後押し。
- ・歩行者専用エリアを作る。
- ・空き物件の活用に減税等のインセンティブを付ける。
- ・昭和のような懐かしみのある景観を維持する。
- ・無印良品、文房具屋、スーパーなどが撤退したので代わりとなるお店が入ると利便性は上がると思います。
- ・ルッキズム（外観を重視する考え方）が激化している昨今、若者の間では美容に関する話題がかなり盛り上がっている。その点、酒田にはまだまだ先進的な美容サービスを受けられる場所が少ない。そこを改善するだけでも若者の足が集まるようになるのではと思う。
- ・スーパーが無くなって不便になったのでスーパーを勧誘してほしいです。
- ・酒田市民だけでなく観光客や産業で盛んになってほしい。
- ・空き地や空き家を使用した宿泊施設の経営や映画やドラマ撮影などの場所の提供などあらゆる形で酒田が発展して欲しい。
- ・空き店舗にブティック、食料品スーパー、飲食店、自営店舗に補助して頂きたい。起業を助けてほしい。
- ・旧清水屋が廃墟のようになっていきます。早急に撤去して、酒田市の顔としての大胆な跡地利用を考えましょう。祭りやイベントが出来る広場、公園、温泉施設（お湯が出れば）は住環境を改善し住みたい人が増えていきます。質の高い住宅街を目指してはどうか。飲食街の再生もぜひ取り組んでもらいたい。
- ・清水屋跡地を行政主導（民間では進まない）で、再配置を希望する。
- ・車社会の今、高齢者でも入りやすい駐車場を作るのが一番と思う。
- ・ズバリ映画館！！イオンシネマ三川に行っているお客様が見込めると思う。3D、4D、個室のある映画館ならベスト。山形市にあるムービーオンやまがたを参考にしてほしい。
- ・中町の情報が少ない。何の店があり、コインパーキング以外の駐車場があるお店とかもわからない。個人店はただでさえ入りにくいのに、中町の総合的なイメージがあいまいなので足が向かない。情報発信を頻繁に充実してほしい。
- ・道が狭く車でも通りたくないと思うので道幅を広くしたらどうか。
- ・旧清水屋を活用して食料品や衣類等が買える店を起業してもらいたい。
- ・書店、本屋が1軒もないのは寂しすぎます。ぜひ作っていただきたい。ミライニも利用しますが遠すぎます。
- ・映画館、温泉、書店、洋服屋さん、靴屋さん等があったら良いと思います。
- ・鶴岡公園のような、緑いっぱい大きな公園にして欲しい。
- ・お店の近くに駐車場があれば待ち合わせ場所として利用しやすい。
- ・全員参加しやすいイベントをする。必要と感じさせてほしい。
- ・若者が楽しめる施設や、カフェなどを増やして欲しい。
- ・居酒屋がフィーチャーされる機会があると嬉しい。

- ・高齢の方には健康の為の散歩コースがあり、子どもが遊べたり、学生達が友達とのんびり出来る芝生の広場、イベントの開催ができる大きい公園があると様々な世代が自然と集まり使ってもらえると思います。
- ・子ども食堂を作る！空き店舗を活用したイベントをたくさんする。学生（のアイディア）と中町エリアが連携する。新しい店舗（アンケートをして）を呼びこみ、中町を活性化させる。
- ・企業誘致 チェーン店の誘致。
- ・遊ぶところを増やして欲しい、飲み屋ばかり、銭湯がほしい。
- ・道の駅のような何回も行きたくなる場所になったらいいなと思います。
- ・年齢問わず集えるカルチャーセンターがあれば、徒歩圏内なので、老後に向けて通いたい。
- ・1、中町一帯の商店街全てを市が買上げる。2、大学教授などから地域活性化の助言をもらう。3、市に地域活性化プロジェクトを立上げる。
- ・雨や雪の日でも休める場所。学生が勉強に使える場所。小さい子どもが遊べる場所。スペースを貸して小さなお店がいっぱい集まっている店（アクセサリやハンドメイド、野菜、お菓子など）。
- ・中町エリアに老人ホーム的な老人エリア、保育園（幼稚園）エリア、広い駐車スペース、緑地を設けてほしい。
- ・商業施設がまた出来てくれたら嬉しい。停めやすい駐車場があると嬉しい。
- ・イベント事がある時、駐車場に停められないことがある為、駐車場を増やしてほしいです。その他に、新しい店舗や若い人がもっと集まって遊べるような場所などがあつたらいいのかな？と思います。
- ・学生が遊べる施設（ラウンドワンの様な総合施設）や、マクドナルドやサイゼリヤなど、学生さんも行きやすい低価格の飲食店を建てて欲しい。今は、三川イオンや秋田など、市外に遊びに行っているので酒田市が潤わない、悪循環。必要な投資は仕方ないと思う。もっと、子ども達が楽しいと思う街にして欲しい。
- ・学生や若い世帯向けの飲食店（サイゼリヤ、鳥貴族、串カツ田中、肉バル等）。
- ・大衆向けのアパレル、雑貨店（GU、UNIQLO、3Coins、マツモトキヨシ、Loft 等）。
- ・旧清水屋を利用した商業施設（伊勢丹のような百貨店やラウンドワン等）。
- ・飲食関係に期間限定の10%割引券の発行。
- ・飲食店の充実。昼夜問わず、いつでもこのエリアに行けば、色んな種類の飲食ができる場所にして欲しい。
- ・雑貨屋さんや若い人が好きな物があれば良いと思う。駐車場が無料で広い所があれば良いと思う。
- ・アクティビティが体験できる施設があってもいいと思います。
- ・古い映画やちょっとコアな作品を上映する映画館があれば、三川イオンシネマと差別化できて良いと思います。
- ・イベントがあつて行きたいと思っても駐車スペースが少ないため結局行かないでしまう。
- ・大きな無料駐車場。有料でも2時間無料にするなど。
- ・起業を志す人がもっとチャレンジしやすい様に資金面を市が考えてほしい。
- ・酒田最大の防災に関する施設（大量の備蓄品を確保しておく場所。災害発生時、多くの市民が避難してもプライバシーが守れるような避難場所）、市役所や病院などがあるのでシニアハウスをいくつか造る（シニアの町）。
- ・日和山からの開発から中町エリアの再生につなげる為の中町のイメージ戦略と予算の適正な執行。
- ・無駄なことに對してしっかり見直す。冬期間でも行きたいと思える街！！
- ・何とかの街と言われるような街にする。他県他地域で成功例、失敗例を精査しつつイメージを広げる。
 - ・プロアマからのアイデアを公募する。
- ・品物を渡す時は一言添えるなど来客者とのコミュニケーションを図る。
- ・中町は、山居倉庫、いろは蔵パーク、港、文化財などを結ぶ、重要なエリア。賑わいを創出するための、テーマ型ホテルなどの集客施設が必要で、公共交通機関が機能していることも重要。中町をどうデザインしていくかがカギとなる。
- ・ラウンドワンのような若い人たちが家族で遊べる場所があれば良いと思う。
- ・車での往来のためには時間無制限の無料駐車場。
- ・テラスがある飲み屋があれば良いと思う。
- ・酒田はとにかく小学生以上の子どもが満足する遊び場がない。小学生や中学生が外で遊ぶアスレチックスペースや雨の日に遊べるスペースがほしい。子どもが行けば大人も行き消費が増える。それが無い為に、それを求めて県外まで遊びに行く状況をなんとかしてほしい。これでは子育てしやすい町とは言わない。
- ・コワーキングスペース、ファブラボ、イベントスペース。
- ・みんなが楽しめるようなイベントをもう少し増やして欲しい。
- ・無料で使える駐車場（駐車しやすく、車が出入りしやすいもの）。
- ・無料の駐車場を作り気軽に行けるようになれば自然と活気づくと思います。

- ・様々な遊具を設置し、いろんな地域から注目される大規模な遊び場があると非常に魅力的だと思います。
- ・有名なアーティストの作品をまちなかに展示してほしい。あちこちに。心が豊かになるような美しい作品が必要。パブリックアート。近代的なアート作品がほしい。
- ・車社会なので無料で使用できる駐車スペースがあれば行く機会が増すと思う。おしゃれな店 or 旧街道的な景観の店が集まってるのか魅力があれば良いかな。
- ・各年代に聞き取り。(どのような店があったらいいかなど) エリア分け、新しい事業への市からの協力。
- ・旧清水屋を活用できないか考えてほしい。公益大学生向けの居住空間としての使用。
- ・店舗前に駐車場がある店舗。八戸市の館鼻岸壁朝市のような参加自由な毎日曜朝市。講義のできる場所を作り大学の学科の一部を移転。
- ・若者の街。
- ・酒田市民は車が無いと移動も制限されるので、車が止めやすい広い駐車場があれば中町に行きやすい。出入口ゲートはマイナンバーとかで管理して、酒田市民に限り8時間程度無料だと1日遊べるのではないかなと思う。
- ・大型「無料」駐車場。何十年前から言われ続けていると思いますが交通の便が悪い。どうしても郊外に行く。
- ・旧清水屋の位置に本間病院があれば良かった。
- ・駐車場が不便である。シャッターが閉じているだけで衰退を感じる。
- ・いろいろ施設、お店が集まり幅広い年齢層が集えるスポット。
- ・若者向けの商業施設等(洋服、カフェ etc...)。
- ・旧清水屋の処理、人が集まりやすい場所、公共駐車場の確保。
- ・街づくりには広大な無料の駐車場と雨風雪に関係なく歩けるエリア。
- ・希望ホールに昭和の歌手がくれば良いと思います。
- ・〇〇フェアとか色々やってほしい。台湾フェアとってもよかった。
- ・ラーメン博物館、カラオケ。
- ・酒田駅前に大型スーパーがあれば便利だと思う、スーパーの近くに駐車場が欲しい。
- ・のぼりや旗などで観光客がワクワクする町並みにする。夜は一年中通してイルミネーション。女子高生が好きなファストフード店、インスタ映え。
- ・若い男女が会える場所や、イベントが日常的に数多くあり、老若男女誰でも出かけたいエリアだと良いと思う。
- ・東北公益文科大学中町ミニキャンパス、空き店舗活用と若者誘致。
- ・土田よしはさんとのコラボによる酒田ラーメンストリート。
- ・イベントをする時は事前の宣伝を強調。各趣味、運動教室のグループを招待するとか。
- ・空き店舗のシャッターを開け、安い家賃で貸したらどうでしょうか。
- ・伝統行事(酒田まつり)や季節のイベントの他に定期的にイベントや〇〇市のような出かけられる場を作る、継続していく。
- ・空き家や空き店舗をリノベーションして条件付きで貸す(学生の場合はイベントの参加やボランティアをするなど)。
- ・清水屋跡地のランドマーク化→(歴史、文化、教養、食 etc)。観光素材の磨き上げ。街歩きコースの見える化、情報発信、おもてなし(ガイド、名物的人材の活用)。
- ・無料駐車場を充実させ、人気、集客力のある企業(ユニクロ等)の誘致。
- ・物価高対策(不揃いの野菜を安く売ったり、フードロス削減)。
- ・ラウンドワンなどの遊び場や、チェーン店でも良いが安く美味しく遅くまでやっている店を増やして欲しい。
- ・雑貨屋、カフェ、ランチ、遊び場など半日くらい中町に居られるような場所があれば行きたくなくなります。
- ・気軽に行ける図書館等がほしい。(駅前の図書館は敷居が高い)施設個々の駐車場がほしい。
- ・アウトレット。
- ・電動モビリティの試乗体験。
- ・同じ趣味や悩みを持っている人が集まれる施設やイベントを作って欲しいです。個人的な意見ですが、室内ドッグランが欲しい。
- ・無料で停められる駐車場があり、休日に家族で遊びに出かける場所であってほしい。深夜のるんるんバス。
- ・酒田の歴史や名物、食を詰め込んだエリアにして、観光地に特化すべき。通りで異なる顔を見せられるように、日和山からの通りは江戸舟運期の京文化との融合、別の通りには文明開化の凱旋門や汽車、琢成学校の意匠。別の通りには昭和レトロなど。酒田市民には市民割を適用して住民も集客対象とする。
- ・無料駐車場、郊外にある店舗が中町にもあれば新たな人の導線も生まれるのではないかな。

- ・もっと若い人達や子育て世代が集まれる場所を作って活気ある街にしてほしい。もっとイベントを開催するなど今までにない事に投資、チャレンジしたほうがいいと思う。やる気のある若い人はたくさんいると思う。
- ・空き店舗を活用してカラオケの場所を作ってほしい。高齢者が増加しているし、車の運転ができない方もいると思う。低価格の乗り合いタクシーを考えてほしい。
- ・オシャレなカフェや美味しいレストランがあれば、みんな出掛けると思う。スタバ等あったら、人は集まるが、周りに魅力が無ければ、絶対無理。頭が硬すぎる…まずは旗艦となるお店を誘致しないと。
- ・もう少し面白そうな物や場所を取り入れる。例えばバズりそうなフォトスポットなど。どこかとコラボなど。
- ・飲み屋だけではなくファッションアイテム、食べ物屋さん。
- ・起業するにもそこに人が集まるようにしないと掛け声だけでは難しいと思う。スクラップ&ビルドで中町に住むをコンセプトに大胆な都市計画を望みます。
- ・旧清水屋へ老若男女が集まる店舗（集客できるドン・キホーテ、GU、ユニクロなど）を誘致する。人が集まれば中町ももっと賑やかになるのでは？
- ・行政が心をもって立て直しにあたること。数字や分析データはあくまでも目安。これまでの酒田の歴史、人々の歩みに敬意を払ってご自分の業務にあたるべき。遠くで生まれ育った人には計り知れない思いをご自分の足で集めて共有するところから始めてみてはいかがでしょう？
- ・駐車場の無料化、郊外の大規模スーパーのように、中町エリアも無料化にして集客するようにすれば良いと思う。
- ・道路幅と駐車場を考えてほしい。
- ・映画館、本屋、温泉（中町でなくても市内にあればいい）。
- ・停めやすい駐車場がたくさんほしい。
- ・若い人や子育て世代の方々が行きたくなるスポットや施設、お店、学びの場など。また、家族で出かけやすい、広い世代が楽しめるお店が1店だけでなく複数あると良い。
- ・集客できるお店があれば良い。
- ・既存の観光地、施設等の磨き上げや活用。
- ・繁華街に面しているので、夜も遊べるようなラウンドワンや、日中は老人も集まれるようにスイーツパラダイスが出来れば良いのになと思った。
- ・いろは蔵パークが賑わっているのもそういった商業施設を増やして欲しい。
- ・平面の広い駐車場、大きな書店が欲しい。歩行者用の道路の両側に（車が来ない道があると安心）。地元の個性的な店が連なる商店街、市場があれば良い。
- ・一部は住宅街として復活し、子育て世帯が暮らしやすくすれば、自然に賑わいが戻る様な気がします。古いビル、空き家を整理して、住宅として町が復活できればうれしいです。古い建物を解体まで進められる仕組みがほしい。
- ・空き家バンクなどを活用して人が住み着く環境を作らない事には再生は厳しいのでは？管理しなくなったら廃れるだけかと。
- ・旧清水屋の場所を再生してもらいたい。この建物がある限り、変わらないように思う。
- ・スタバやタリーズなどの有名カフェ、コストコや百貨店など若者が行きそうなお店を集めてほしい。一方でモアレや尾川園など昔からのお店がなくならないよう持続してほしい。
- ・中通りでクラフトフェスタをしてほしい。アーケードがあっても良いので。
- ・日和山公園へのアクセス利便性と公園の駐車場整備（無料）。
- ・私は内陸出身ですが鶴岡の方が観光地としてワクワクします。なぜ？と考えたらのぼり、旗などでアピールしているからです。酒田も相馬樓近辺をもっとアピールすると良いと思います。
- ・不要な建物を壊して駐車場にすれば、酒田まつりやイベントの駐車場に役に立ち、行きたい、利用したい、足を運ぶきっかけとなる。

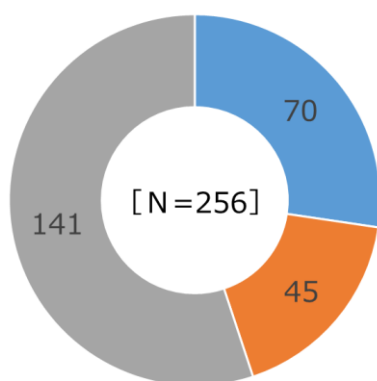
④「取り組む必要はない」と回答した理由を選んでください（複数回答可能）。

項目	回答数	割合	10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中町エリアは今のままで十分だと思うから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中町エリアを利用する機会がほとんどないから	7	36.8%	3	42.8%	3	37.5%	1	25.0%
商業の環境が変わり、以前のような賑わいは戻らないと思うから	5	26.3%	2	28.6%	2	25.0%	1	25.0%
他の事業に資源を投じるべきだと思うから	4	21.1%	0	0.0%	3	37.5%	1	25.0%
その他（自由記述）	3	15.8%	2	28.6%	0	0.0%	1	25.0%
合計	19	100.0%	7	100.0%	8	100.0%	4	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・人口が減ったら取り組むことができないと思う。
- ・活性化している地方は大体駅前が賑わっているため、中町を強化する必要性とは何か？と思う。中町まで行くには距離があり、徒歩での移動者には中々酷だと思う。るんるんバスやタクシーはあっても時間帯が少なかったり、短い距離に1,000円以上取られるのは馬鹿臭く感じる。そのため、駅前に商業施設や娯楽施設を集めた方が良いと思う。
- ・中町エリアの居住人口が増えないと賑わわないと思うから。

問9 住民、商店街、民間、行政等が連携して中町エリアの未来を考え、協働してまちづくりを実践していく場があれば参加してみたいと思いますか？



- 参加してみたい 27.3%
- 参加しない 17.6%
- よくわからない 55.1%

項目	10・20代		30・40・50代		60代以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
参加してみたい	9	25.0%	32	30.2%	29	25.5%
参加しない	7	19.4%	21	19.8%	17	14.9%
わからない	20	55.6%	53	50.0%	68	59.6%
合計	36	100.0%	106	100.0%	114	100.0%

➤ 協働してまちづくりを実践していく場への参加について「参加してみたい」と回答したのは27.3%であり、「参加しない」と回答したのは17.6%、「よくわからない」と回答したのは55.1%であった。

問10 中町エリアの再生には、施設の整備（ハード事業）とイベントや仕組みづくり（ソフト事業）をあわせて進めることや、行政と民間が協働して取り組むことが大切だと考えています。このことについて、どう思いますか？

項目	回答数	割合	10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
官民連携で進めるべき	165	63.2%	12	33.3%	66	61.7%	87	73.7%
民間主体で進めるべき	28	10.7%	8	22.2%	11	10.3%	9	7.6%
市が主体となって進めるべき	62	23.8%	16	44.5%	28	26.2%	18	15.3%
その他（自由記述）	6	2.3%	0	0.0%	2	1.8%	4	3.4%
合計	261	100.0%	36	100.0%	107	100.0%	118	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・民の力が弱いと感じている。官6.5、民3.5の割合で進めるべきか。
- ・ハード面は市が主体となって整備、設置し、ソフト面を民間主体で進めていくと良いのではないかと思います。
- ・イベントはあくまでも一過性の物、事であってそれらに頼ってはいけないう刺身のツマのような物であります。日々が大切です。
- ・官民が基本だが、デザインなどは行政が事前に描いておくことが重要だと思う。
- ・行政の働きが悪くてがっかりしている。酒田がこうなる前にもっと早く手をうってほしかったです。

- 最も多い回答は「官民連携で進めるべき（63.2%）」、次いで「市が主体となって進めるべき（23.8%）」であった。
- 10代・20代では、市が主体となって進めてほしいと回答した割合が高かった。

問11 あなたが市民として中町エリアの再生のために協力できそうなこととして、どのようなことがあると思いますか？（複数回答可能）

上位 1位:赤 2位:黄 3位:緑

項目	回答数	割合	10・20代		30・40・50代		60代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ボランティア活動に参加する	54	11.3%	13	19.4%	24	11.0%	17	8.9%
イベントに参加する	148	31.0%	20	29.8%	67	30.6%	61	31.9%
イベントの運営に参画する	28	5.9%	5	7.5%	20	9.1%	3	1.6%
中町エリアで消費（買い物、飲食など）をする	203	42.6%	21	31.3%	89	40.6%	93	48.7%
中町エリアで起業する	6	1.2%	0	0.0%	3	1.4%	3	1.6%
中町エリアに住む	16	3.4%	1	1.5%	9	4.1%	6	3.1%
わからない	16	3.4%	5	7.5%	6	2.7%	5	2.6%
協力しない	2	0.4%	1	1.5%	1	0.5%	0	0.0%
その他（自由記述）	4	0.8%	1	1.5%	0	0.0%	3	1.6%
合計	477	100.0%	67	100.0%	219	100.0%	191	100.0%

その他（自由記述）※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・買い物、飲食したいがお店が早く閉まってしまう。
- ・一時的なイベントではなく企画していく活動に参加できないかいつも考えますが、きっかけが分からない。
- ・全てに納得できれば活動に参加したいが、色々バランスが悪いような感じがする。
- ・高齢のため協力できない。

- 回答者が中町エリア再生のために協力できそうなこととして最も多いのは「中町エリアで消費（買い物、飲食など）をする（42.6%）」、次いで「イベントに参加する（31.0%）」、「ボランティア活動に参加する（11.3%）」であった。日常的な消費活動や地域イベントへの参加を通じて、まちづくりに貢献したいという意向が強かった。
- 10代・20代では、他の世代よりボランティア活動に協力していきたいと回答した割合が高かった。

問12 中町エリアについてご意見があれば記入してください。

(問7で「関心がある」と答えた回答者)

※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・清水屋や中通り商店街など酒田大火の復興を遂げたことをこのグランドデザイン案で潰さないで活用してほしい。
- ・年配しか見ない。お祭りやイベントの時しか人が集まらないので空き家を何とかした方がいい。
- ・私たちは街なかでの暮らしに慣れて、まちなかへ転居し、間もなく20年を迎えます。街なかでのイベントや商業宿泊施設の整備など、中町は少子高齢化が進むなかでも、イベント等での賑わいは創出できている。今後に向けて若者や子育て世代が定住しやすくする施策を講じて頂きたいです。
- ・バスなど公共交通を充実させ、買物や役所の利用で駐車場を無料にし、昼夜共に人流を促す。
- ・長期的には、職場・学校(保育園含む)・住居が密接して、大人も学生も暮らしながら商売をして学べる場になったら良いなと思います。
- ・決まった人やメンバーが行く。仲間に入っていないと行きにくい。中町にこだわる必要性は？役所関係の人しか情報を知らない。
- ・清水屋が無くなってから寂しくなった印象ですが、イベントを多数開催し一時的には盛り上がっているように感じる。
- ・50店舗ぐらゐり起業しないと人が寄らない。一方通行の見直し(中町エリアに車も人もいかな㇔い)。起業する人に(なるべく多くの業種)応援していただきたい。
- ・大胆なプランを策定し再開発すべきでしょう。
- ・人が集まれる施設があること。
- ・今更、民間では進まないのでは行政主導しかないと思う。中町エリアに手をつけないのであれば、対案を示してほしい。
- ・駐車場(入りやすいものでないと利用しづらい)、観光客、地元の人が集まるエリアにしてもらいたい。大型の海鮮市場も良いのではと思います(中途半端ではなく)。
- ・日本で全国的に、いや世界的に人気があるのは「アニメ」!!アニメを活用して全国から人を集めてみては・・・。
- ・アニメに続いて人気があるのは「猫」。神社、寺、カフェなど「猫」はいろいろな所で活用されている。空き店舗を考えて、アニメと猫のダブル作戦でなんとかならないか?
- ・①車でアクセスを容易に、②情報発信を多く、③中町のシンボルというか特色が欲しい(行ってみたい、また来たいというイメージが無い)。アート、文化、食、歴史、特定の人物など何かにしぼって色が欲しい。例:アキハバラ、神保町、大谷翔平のふる里とか。とにかく一番はアクセスしにくい事が問題。AIを使った戦略などアプローチを考えてほしい。応援しています!
- ・安心、安全、1人で行っても居心地の良い公園を望みます。日和山公園は居心地がいいとは思っていません(昔からです)。酒田まつりの時、駐車場とトイレが足りないと思います。露店の人達も本当に困っている様子です。あの方たちがいなければ祭りは盛り上がりませんでしょう。ぜひ配慮してください。私が幼い頃、中町に行けば買い物だけではなく何でもそろったように思います。今は高齢化が進みとても住みにくい場所になってしまいました。どうにかならないものかといつも思っています。駐車場のことは必須だと思います。私自身は車の運転はできません。しかし車で移動する人が殆どです。これを抜きに考えることはできません。
- ・小幡楼の日和亭は人気があり駐車場が混んでいる。駐車場の案内(3ヶ所)を分かりやすく表示してほしい。酒田市全体的に松枯れが進んでいる様子ですが、日和山も次々茶色になっていてとても心配です。落ちた松葉の活用法はないもののでしょうか。対処を早くしてほしいです。
- ・これから人口は減り続けるので、維持管理が大変な大きな建物や、すぐに入れ替る空き店舗はもう必要ないと思います。何かを作るのではなく、減らしていった欲しいと思います。
- ・朝市など賑わいの増えるイベントができていると思うのでさまざまな形でイベントの数を増やしてほしい。
- ・老人ではなく若者に必要な施設を増やしてください。
- ・中町エリア、とても良い場所なのに寂しい感じがします。何か目的がないと中町に行かないので、子ども達や学生、子育ての方を目的とした物があれば良いと思いました。高齢化しているのでターゲットを若い層に!
- ・前よりはイベントが多くなった。駐車場を増やしても良いと思う。
- ・季節ごとの楽しいイベントだけではなく、子どもが将来の職業や地元について知ることができる体験、講習会のようなものがあれば参加してみたいです。
- ・「シェ・ピエール」さんのような看板動物がいるお店(どうぶつカフェなど)が増えると、市民の方の心が和むと思う。
- ・旧マリーヌ5清水屋周辺に小規模でも良いので商業施設(スーパーなど)があれば便利だと思うのですが。

- ・やはり、旧清水屋をなんとかしてほしい。お金はかかるけどまち再生の専門家に依頼して、外からの目線と地元の目線でエリア全体の再生もいいと思う。今の運営は新鮮さが無いと感じる。
- ・鶴岡駅前の屋根付き屋外ステージにプロハワイアンダンスを鑑に行きました。グッズと飲食ブースの出店、天井の機材照明も雰囲気を醸し出し良い空間でした。JR、バス停、ビル駐車場もあり、酒田もマリーン5 脇屋外スペースをステージ活用できればと思います。
- ・昔ながらのお店が多い様な気がするので若い人達が好んで来てくれるような町になったらいいのかなと思います。
- ・まず①中町周辺が何故衰退したのか？②商店街活性化のための声掛けはなかったのか。③市民が集う（働きやすい会社等）場所を作る。④国、行政機関との連携強化。
- ・シャッターが降りている店が多いので空き店舗をワークスペースなどに開放してほしい。遅い時間のるんるんバス。酒田のラーメン博物館。
- ・他市のマネではなく、他市のやったことのないことをやってみてはどうか？
- ・大人も子どもも遊べる施設や飲食店があると良い。駐車場も完備で。
- ・人口減少及び少子高齢化が進む地方においては、中心街を若者向けの店舗で賑わすことが、雇用の推進を図りつつ、市外からの移住者を増やす決定打になりえることから、それに必要となるコストは惜しむべきではないと考える。
- ・スーパーの分割化。例えば昭和時代のような商店街の復興、空き店舗の再利用、公益大学の第2キャンパスなどあったら人口集中と活性化につながってくれそう。中町エリアに住む方が増えると起業される方も増えるのですが・・・。現在、住民が少なすぎですね。空き家がとっても多いです。市全体ですが・・・。
- ・市の職員が経験しないで、市民に託すのは間違いです。酒田のラーメンの全国への宣伝、富裕層への宣伝を求む。
- ・清水屋がなくなってから中町に行くことが少なくなった。
- ・屋台村のようにチャレンジしやすい場所の提供をして新しい空気を取り入れる、そのサポートを市が取り組む。消費者がお金を落として育てる、という取り組みをすることで酒田市の文化が発展していくのだと思う。そのためにはとにかく古い考えを捨てて新しい考え方を取り入れようということが必要だと思う。
- ・逆走する車を何度も見た事がある。わかりにくいのかな？
- ・高齢化等で人があまり往来しなくなっていると感じる。なぜ酒田の高校は市内の中心にないのか？若い人が町に入らないのでは？
- ・市役所、銀行、病院に行った際に立ち寄っても、見たり買い物ができる場所がない。無印良品も移転してしまったし、スーパーもないので行かなくなる。中町だけではなく酒田でどんな事をやっているのかがわかるようにもっとアピールしてほしい。
- ・駐車場の拡大（1ヶ所に停めて中町周辺を歩き回ったり食事したり。無料又は3時間位無料の駐車場が利用しやすい）。
- ・旧清水屋、空き家の有効活用。ジュニア、ミドル、シニアが目的をもって楽しめる文化と食の拠点。
- ・もっと自由に車を止められる駐車場が欲しい。
- ・客船が寄港した時だけでなく、継続的に賑わうようになってほしい。中心部なのに、人が歩いていない。
- ・駐車場が少ない。夜になると暗く歩きたくない。道路が狭い。飲み屋の近くは治安が悪い。
- ・店舗がどんどん少なくなっていって町に活気がなくなってきていると感じます。
- ・昔、仲間達（グループ）が自分たちで作った野菜、花、加工品などを売ってました。毎週月曜お客様と仲間に会えるのが楽しみでした。中町エリアと聞いて懐かしく思い出されます。
- ・街並みは素敵なので半日位、買い物や食事など出来れば行きたいと思います。
- ・中町は中心部にある。港、日和山、山居倉庫、駅等からみてもど真ん中にあると思います。もっと賑わいのある街になってほしいと願います。
- ・中町は酒田の顔だと思います。これからの進化に期待しています。
- ・ウォーキングしている時、人がいないな、お店が少ないな、夜暗いなと思います。
- ・清水屋のような商業施設があったら良いと思います。カインズ、IKEA、コストコ、利休、レンタルCD、DVD、本、生ドラナツ屋さんなどあったら行きたいです。
- ・市民としては不便極まりなく、観光客への魅力もない、衰退しか見えない。
- ・ずっと川南地区に住む市民目線からすると、何でも中町じゃないと、という姿勢だったのも悪いのではないかな。子どもの頃は中町で遊ぶのが楽しかった。学生が楽しめる場所がない。長年住んでいて酒田が住みやすい、好きという気持ちはある。車社会だと利用しにくい行きにくい場所になってしまったが、人の賑わいが戻っている場所もある。（日和山、船場町、山居倉庫周辺）。行くのが楽しい場所＝駐車場も広くある。酒田大火が無かったらと思うことは度々ある。中町に大きな映画館＋カフェ、タワーレコードなどあったらな。

- ・大型の無料駐車場が欲しいです。
- ・一般企業がないため人の往来がない。飲食店や遊び場を増やしたとしても活性化されないので一般企業の誘致をお願いしたい。
- ・清水屋がなくなり人の流れがいろは蔵、南イオン方面に。中町エリアに子ども達が遊べる施設があれば。いろは蔵、南イオンが近くにあればもっと良かった。中町エリアは一方通行が多く、道も狭く、スーパー、清水屋がなくなり、人が別のところに流れてからではよほどのことを考えないと人は戻ってこないと思います。天童イオンは大通り沿いにあり、近くには子どもを遊ばせる場所もあり、子どもを預けたり買い物もできるので人気。
- ・もっと空き家を活用し楽しくとても最高なエリアにして欲しい。
- ・イベント、講座情報をよく見えていますし、参加申し込みをよくしています。中町、本町、二番町には歩いてみないと知らない建物や公園、神社などがありました。中でも気になったのが本町公園に①酒田奉行所跡→龍徳稲荷神社→稲荷神社、本間家旧本邸別館→本間家旧本邸への道、②旧鑑屋→中央公園→愛宕神社→たくみ通り。もうすこし公園を整備して子どもが遊べて、大人が木陰でのんびりお茶でも飲めたらいいなあ！！そのついでに買い物が出来たり。
- ・中町は人も車も少なくなった。清水屋さんがなくなってからはとくに人通りが少ない。
- ・飲み屋横丁だけでなく、食べ物横丁、ショッピング横丁などでもいいのでは。車のおける場所の近くに店があれば便利。大火からもう半世紀近くになっているので昔には戻れない町（しかたない）。駐車場も少なく、車社会なのに改善もない。何をどうしていったら分からないでいる人達。人口も少なくなっているから、前のようには無理でもこれからの若い人達を引き付けるような町になってほしい。諦めがありこんなもんかなとかこれで十分とも思う。
- ・インバウンド需要にはホテル建設が急務だし、清水屋などの再生化をスピード感をもって対応していただきたい。サンロクの見直しを含めた活用の促進。取組が見えない。リソースは有効活用しないともったいないです。
- ・酒田の中心は旧清水屋だと思います。そこをベースに老若男女が集まるものをお願いします。
- ・山居倉庫、相馬樓、本間家旧本邸、旧鑑屋、山王くらぶなどが酒田らしさだったと感じています。それらの魅力が薄らいでしまったことが衰退していると感じています。京都のように古民家をリノベして古き良き姿を生かす、神社仏閣の御朱印などで盛んになればと思います。海鮮が強みと思いますが、地の物が少なかったように思います。新鮮、安いが1番。観光して巡るには駐車場が必須。もしくは一日フリーパスのようなバスの活用。公共交通機関が弱いと思います。閉店している店が多いのは仕方ないのですが、片付けられていること、清掃されていることなど周辺環境の見栄えも大切かと思っています。
- ・前市長が功労された図書館を中心に今、人の流れが出来ているが、駅に着いたり、ホテルに到着した方が、ふらりと寄れるような商業施設が皆無。せっかく出来た人の流れが吸収されず、ほとんどの方がコンビニで消費。人流を中町に運ぶ魅力的な手段を考えてみては。まずは人流づくりを考えてみては。
- ・特に清水屋ビルについて更地にするか存続するのか、官民による財政支援など検討できないものでしょうか？懸案の旧清水屋について検討の必要があると思います。
- ・車で通るたびに歩く人もなく、お店がいつの間にか閉店しているのがとても寂しい。何とかならないものか。駐車場が分かりにくく、また狭くて停めにくいと感じるので、行くのに躊躇する。今は商業施設も少ないので足りると思うけど、もしたくさん人が集まると不足するのではないかと思う。将来、人を集まりやすくするなら、駐車場の使いやすさは必須だと思う。
- ・遊び場や食べ放題などが酒田には無いと思う。
- ・清水屋跡地を商業施設ではなく、大きな公園や小さな遊園地、動物園、植物園等にし、周辺にカフェ、飲食店、中町商店街等、市民、観光客の憩いの場にするのはどうでしょう。
- ・高齢（お金は有るし自由時間もある）になると移動手段が大変です。バスとかもっと簡単に乗れればいい。乗り方が分からない。停留所がどこにあるか分からない。駐車場の確保が一番。
- ・朝市、スタンプラリーetc. 商店街の方が頑張っている姿に応援したいと思います。
- ・中町は一方通行の道が多いので、土地勘がないと行きずらいと感じる。道路整備も含めて検討してほしい。
- ・駐車場（無料）広い所がないから行けない。無料の駐車場等、行きやすい環境を希望します。
- ・自転車で行きやすい道、駐車場を考えてほしい。若い人で賑わう街にしたい。
- ・夜の飲食店は多少賑わっているように思いますが、昼間や若い世代の人が楽しめるお店がかなり少ないと思います。山居倉庫は、観光で来客があり、資料館の案内をしたらあまりにも規模が縮小して全国的に類を見ない遺産なのにつかりして帰って来た。以前の様な見学コースを復活させて欲しいと願っています。
- ・個人の店は入りにくいので大きい建物の中にテナントとしていくつもの店があると入りやすい。駐車場が無料になれば嬉しい。

- ・路上駐車が出来たりとか無理な事に挑戦！！関連性、統一性が無いような感じがする。何でもありでもいいのですが、最低でも3、4時間は過ごせる街づくり！！大切な予算が結果無駄にならないか不安、心配。まずは義、あとで利、小さく正道がやがて大道になる！！中町に行く事で何が市民にメリットが有るのか。最低でも5つのメリットが必要であると思います。
- ・清水屋さんと健康プラザの間は常になにかで賑わうスペースに・・・。
- ・これから少子高齢化でコンパクトシティをどのように描き実現していくかが重要。街の中心である中町を、どうデザインし位置づけていくかがカギ。地元と連携し、早期に街づくり進めてもらいたい。
- ・以前はしょっちゅう飲みに行っており、夜になるとたくさんの方がいて盛り上がっていたが、最近はコロナを境にめっきり人が出なくなっていると感じる。辞めてしまった店も多いと思う。よく行く店も客が来なくて大変だと言っていたので、中町エリアの集客のためになにかできれば良いと思う。
- ・バイパスの外、羽越本線の外からいかに呼び込むか、駅の東と西のつながりの道路整備、資金の問題、JRとの関係。山形市、天童市、東根市を手本に！！
- ・飲食屋さんが激減する中、アルバのようなカレー屋さんがとくに欲しいと思います。
- ・人が行かないためにどんどん衰退してゴーストタウン化したと思っている。市民の生活に何が必要かを考えてほしい。
- ・もっと専門学校や病院などの人が集まるような施設を増やすべきだと思います。（イベントやフェスなどの開催）
- ・現在の酒田市は、トー屋さんも清水屋さんも、そしてまる五さんまで閉店し、寂しい街だと思います。そして中町エリアの魅力がうまく伝わっていないと思います。市の広報、ハーバーラジオなどで発信してはどうでしょうか。
- ・なんでも大人で決めるのではなく、これからの未来のある若者10代の子達に意見を聞き参考にするべき。
- ・パブリックアート、クラフトフェスタ、シャッターアートなどを楽しめる町にしてほしい。若い人も楽しめる町に！！
- ・中心部に大型のスーパーとか集客できるものがあればもっと活気づくのではないかなと思う。
- ・昔は清水屋があつてそこから他の店を見たり友達などの集まりの場の様になっていたが、なくなってから閑散としてしまった。人が集まれるような町になってほしい。
- ・メインとなる道路の拡張。店舗前に駐車場の整備。
- ・私は中町に長年勤務しておりましたので、近年は空き店舗が増え人通りが少なくなり本当に寂しく感じております。早急に活気ある町に取り組んでほしい。
- ・小規模な駐車場はあるものの、出入り口が楽じゃないし、既存駐車場からの遊び場・飲食店が少ない。
- ・集客力がある有名な老舗の勧誘、駐車場の確保、ある程度大規模な店の形態が必要かと思っています。清水屋が撤退してから本当に閑散としてしまった中町を見るのは耐え難いです。地権者との兼ね合いは有るのですが頑張って盛り上げましょう！
- ・駐車禁止の取締りが多いので駐車帯を増やしてほしい。
- ・昭和時代の暮らしを取り入れて、古い時代にしていく。
- ・若者向けの商業施設やスポットの開発（高校生にアンケートをとるなど）。
- ・交通の便。年寄りが一人で行き来できるよう。
- ・スプロール化は致し方ない。エリアの特性を活かして発展させるためには好感持たれてる面を引き出し、不快や不便な面を改善し、財政面を明確にする事だと思います。
- ・港座の映画館でもっと多くの映画を上映してほしい（庄内で撮影）。酒田の映画館（港座）の名前を残してほしい。洋画の映画も見たいです（昔の洋画）。喫茶店（レトロな喫茶店）があればいいと思います。
- ・アーケード街の空き店舗を埋めて欲しい。
- ・清水屋があるときは目的があったため中町に出向いたが、なくなってからは何もない、と言う感じが「わざわざ」行かなくなった。何か目的ができ、象徴的なものがあれば行きたくなるかもしれません。移動は車ですので駐車場など利便性も必須。以前のようなイメージがなくなり寂しさを感じます。
- ・中町まで行かないで用が足せる。
- ・ミニキャンパス待ってます。
- ・買い物したいお店がない。専門店が多い→外国人向けに。豪華客船の観光客も訪れる町なのでもっと賑やかであってほしい。のぼり、旗、看板などでワクワクしそうな感じにしてほしい。店先にも商品を出したり、オープンカフェ。店が歩道の奥にあり入りにくい。もっとwelcome感を出してほしい。

問13 中町エリア再生のためのまちづくりに関心がない理由を教えてください。

(問7で「関心がない」と答えた回答者)

※意見については、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・あまり人と関わりたくない。
- ・再生への道のりが想像できない。
- ・徒歩では遠いし、清水屋もなくなって用事がなくなった。
- ・高齢化しており動けない。
- ・数年後、進学で酒田を出るから。
- ・今の時点で再生の形がはっきりと目に見えないので、将来の展望が想像できない。
- ・活性するための市民への情報が伝わらない。
- ・高齢のため何も出来ない。
- ・再生が難しいと思われるから。
- ・賑わいのある商店街になってほしいが、どんな方法が良いのか分からない。中町エリアを特別視し「再生」を謳う事にも違和感を感じる。
- ・でかける目的がなくなってきたから。
- ・中町エリアに行く事がほぼ無く店舗も入りづらい。車も停めづらく「中町」という場所に行きにくいからです。
- ・食事以外行くことがない（通過するだけ）。勤務が鶴岡のため中町に行く用事がない。
- ・中町エリアを中心市街地活性化として人やお金を注力しても、明るい未来が見えない。限られた人やお金を効果的などころに向けた方が良くと思うから。それは中町ではないと思う。
- ・高齢になり用がない限り中町には行かない。
- ・中町の活性化を進めても、市全体で考えなければ効果が出にくいと思う。住む人を増やそうとするなら雇用の創出と子育て支援が重要で、日本初と話題になるくらいの大胆な施策を進めてほしい。
- ・中町より郊外の学童エリアの整備をしてもらいたい。街灯など。
- ・ほとんど行く機会がないから。
- ・車中心の生活なので、街中に車を停めるわずらわしさを感じる。どうしても駐車しやすいショッピングモールに行ってしまうと思う。
- ・すでに手遅れ。
- ・直ぐダメになるから。
- ・古いという印象が強く、なにか店を作ったところで、流行るとは思えないから。あと、若い人の関心が中町自体にないから。
- ・各店に行くにしても道路が狭く駐車場がない。一方通行が分かりにくく不便である。
- ・中町に行く用事がない。市役所にしか行かない。
- ・居住区でもないのだからあまり行く車もないので。住むにも不便そう。
- ・関わりがないから。
- ・魅力を感じないから。
- ・一度荒れた町は戻らない、投資の無駄遣いになる。学生、若者の集まる場所は他にあるから。
- ・行く機会があまりないから。
- ・高齢者の為、中町へは行かない。行きたいとも思わない。
- ・あまり行かないから。
- ・興味をもてるお店がない。
- ・無料駐車場が少ないので気軽に行きにくい。もともと利用していた店が閉店してしまった。
- ・日常生活はトイ屋みずほと南イオンで買い物をするので中町に行って買い物はしないです。
- ・関心がない訳ではないが、これからの方向性が決まっていない限り、回答しにくい。例えば平日又は休日に利用してもらいたいなど。
- ・人口減少、少子高齢化の方が関心あり。
- ・個々の店舗が多く若者たちが集まらない。行っても買物する店舗が無い。
- ・自宅から遠いエリアにあるので関心があまりありません。
- ・普段あまり行かない。行きにくいので。地下駐車場は狭いし、お金もかかる。

- ・あまり行く事がないから。
- ・今の状況から早急に良い方向に変化するとは思えないから。
- ・現在の中町は点々とお店があり、以前のような活気を取りもどせないと思うから。
駐車場が不便。
- ・中町エリアに用事がなく、あまり行く事がない。中町に行かなくても車であちこち出かけることができるので行く必要がない。
- ・冬の買い物を集合の駐車場に停めてまでしたくない。
- ・駐車場が無く行く気にならないし、魅力的な店舗も無く行こうと思わない。
- ・車での移動が主であるが駐車が不便で行きにくい。
- ・普段、中町エリアにあまり行かないため。
- ・どうせ、なにも変わらないと諦めているから。大きな計画を立ててみんなで頑張るとか、変えていく為の協力事があるのなら参加したい。
- ・酒田まつりだけではなく、もっと賑わいのある場所であってほしいし若い人達が東京の表参道のように集まれる場所になってほしい。駐車するところがない。料金が払う所だらけで行く事が出来ない。
- ・現在住んでいる場所から遠い。行く機会がない。
- ・清水屋がなくなり、再開発が停滞している。行くとしたら祭りくらいだ。遠いのであまり行きません。
- ・酒田市内は距離的にも感覚的にも遠く今の生活圏には入らない。
- ・日用品、スーパーが無い為に行く必要が見当たらない。
- ・なぜ中町を活発にするのか？駐車場が少なく店をオープンしても行きにくい。居酒屋が多く、子どもには行く理由が少ない。
- ・旧平田町在住。中町エリアだけではなく、山間部にも眼を向けてほしい。

問14 中町エリアについてご意見があれば記入してください。

(問7で「関心がない」と答えた回答者)

※意見について、趣旨を変えない範囲で文章の修正を行った。

- ・清水屋のようなデパートが欲しい。
- ・入浴施設を作っていただきたいです。
- ・車で行ける場所にしてほしい。
- ・駐車場を完備してもらいたい。
- ・若い人が喜ぶようなお店がたくさん並べば再生は考えられるが、それが中町である必要があるだろうか。
- ・味気ない建物ばかりになってほしくない。伝統ある建築、文化を残してほしいです。
- ・まちの核となるところは、中町にこだわらず、広い視点で再開発や活性化を進めてほしいと思う。行政主導ではなく、民間が主導した方が良いと思う。
- ・デパートがなくなり買い物ができない。
- ・中町には飲み会に行くが、田舎なのに駐車場が無い、あっても有料、道が細い。田舎なのに駐車場が有料なんて、ありえない。
- ・駐車を考えると行きづらい。
- ・駐車場を無料にしないと誰も行かないと思う。
- ・価値がない。
- ・酒田まつりの賑わいだけでなく年間を通してワクワクするまちにしてほしい。
- ・昔の考えを変えない、今までのやり方で良いと中町の方々が考えている。
- ・清水屋は早く解体したほうが良いと思う。
- ・希望ホールでコンサートがあるとき、駐車場が無くて困った事があった。中町ではなく、もっと広い場所に希望ホールをつくってほしかった。
- ・旧清水屋がどうなるのか気になる。旧清水屋がなくなってから、行かなくなった。
- ・空き店舗が多く、雰囲気が寂しい、怖いイメージです。若い人達が利用したくなるものがあるといいです。
- ・酒田祭の人混みはすごかったですね、私はアプリゲームで日和山に行きます。イルミネーションを派手にしてほしい、神社のライトアップ薄暗くて気持ち悪かったです。
- ・また賑やかな中町になってくれればうれしいです。大変難しいプロジェクトとは思いますが頑張ってください。
- ・中町エリア内に大々的な屋外駐車場を整備するだけで多少なりとも人の出入りが活気づくのでは。
- ・大型店舗があれば良いかな！一店舗で買物が出来る場所が欲しい。
- ・多くの人にとって魅力的な場所になってほしい。
- ・子どもの遊び場、高齢者も集えるところ。コーヒー100円とかアイス100円とか気軽に気持ちで色んな人が来れる場がほしい。
- ・中町エリアを特別に考えることなく、一般的な住宅地の一つと考える方が時代の変化、社会環境、生活様式の変化に合っているのではないかな。中町エリアを特に市の中心部とすることなく、周辺地域も含めて広域的にまちづくりをすべき。公共施設、商店街、官公庁など一か所にまとめず、交通網を整備したり、駐車場を広くとったりしてほしい。
- ・集客できる店舗も無く、駐車場も無く中町に行く用事も無い。
- ・酒田をどうしたいのか。昔の物を壊したくないという高齢者の意見が多いのであれば、若手は、頑張っても無駄と諦め、他県に行ってしまう。小、中、高校生などにアンケートをとって聞いてみてはいいかながでしょうか。
- ・リラックスできる温泉とか岩盤浴みたいな施設とかいろいろと楽しめる施設があったりすればとも思ったりします。
- ・昔、店をしていても、人は住んでいて店をしないだけで、活発にはならないと思う。これ以上お金を使うのはやめた方がよい。

本アンケートはインターネットでの回答が便利です。
右記の二次元コードからアクセスしてください。



こちらの二次元コードから
回答フォームにアクセスできます。

中町エリアのまちづくりに関する 市民アンケート

回答者(あなた)について教えてください。

問1 年代を教えてください(1つに○)。

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問2 お住まいを教えてください(町丁目・字名まで記入)。

酒田市 _____ (例: 本町一丁目、寿町、字荒町)

問3 あなたが住む場所を選ぶ際に重要だと感じる要素は何ですか？(3つまで○)

1. 賃貸共同住宅(アパート)
 2. 共同居住型賃貸住宅(シェアハウス)
 3. 分譲マンション
 4. 一戸建て(敷地内駐車場あり)
 5. 閑静な住宅街
 6. 職場が近い(あなた自身または家族の通勤)
 7. 学校が近い(あなた自身または家族の通学)
 8. カフェや公園などの居心地がいい場所が近くにある
 9. 公園や緑道など緑が多い
 10. 徒歩圏内に日用品などが買える商業施設(スーパーなど)がある
 11. バス停留所が近くにある
 12. 行政機関、医療機関、金融機関などの生活利便性を高める施設が徒歩圏内にある
 13. 子育て支援センター、保育園、児童館などの子育て支援施設が近くにある
 14. その他(自由記述)
- _____
- _____

現在の中町エリアについてあなたが感じることを教えてください。

問4 あなたと中町エリアとの関わりを選んでください(あてはまるもの全てに○)。

1. 居住している 2. 通勤・通学している 3. 買い物や食事に行く
 4. イベントに行く(遊びに行く) 5. あまり行かない
 6. その他(自由記述)
-
-

問5 現在の中町エリアについて、あなたが感じていることを選んでください(3つまで○)。

1. 新しいお店が増え、以前よりにぎわっていると感じる
 2. 空き店舗や空き家が増え、衰退していると感じる
 3. 歩道に植樹や花が設置され、街並みがきれいになっていると感じる
 4. 使われていない建物が増え、もったいないと感じる
 5. まちの伝統や個性、魅力を感じることができる
 6. まちの伝統や個性、魅力を感じられない
 7. 様々なイベントが開催され、以前よりにぎわっていると感じる
 8. 人通りが少なくなり昔に比べて魅力が薄れたと感じる
 9. その他(自由記述)
-
-

問6 あなたは中町エリアがどのような場所になると良いと思いますか？(3つまで○)

1. 起業を志す人がチャレンジする場所
 2. 学生(若者)が暮らし、学び、楽しむ場所
 3. 居心地の良い場所(家族や友人との遊び場や語り場がある場所、緑道など緑豊かな場所など)
 4. 公共交通の拠点となっており交通の便が良い場所
 5. 市役所、医療機関、金融機関などの多様な都市機能が集まる場所
 6. その他(自由記述)
-
-

問7 あなたは中町エリア再生のためのまちづくりに関心がありますか？(1つに○)

1. ある 

「1. ある」と答えた方は問8の質問に進んでください。

2. ない 

「2. ない」と答えた方は問13の質問に進んでください。

問8 中町エリアは人口減少や商業環境の変化などにより空洞化が進んでいます。今後、中町エリアの再生に向けた取組を継続していくことについてどのようにお考えですか？（1つに○）

1. 継続して取り組むべき 2. 取り組む必要はない

問8-1 問8で「1. 継続して取り組むべき」とお答えの方にお聞きします。理由としてあてはまるものを選んでください（あてはまるもの全てに○）。

1. 中町エリアが酒田の中心、酒田の顔だと思うから
2. 中町エリアが自宅から行きやすい場所にあるから（住んでいるから）
3. 空き店舗や空き家がもったいないと感じるから
4. 公共・金融機関などの都市機能が集積している特性を活かすべきだと思うから
5. その他（自由記述）
-
-

問8-2 中町エリアで取り入れてほしいアイデアや提案があれば教えてください（自由記述）。

問8-3 問8で「2. 取り組む必要はない」とお答えの方にお聞きします。理由としてあてはまるものを選んでください（あてはまるもの全てに○）。

1. 中町エリアは今のままで十分だと思うから
2. 中町エリアを利用する機会がほとんどないから
3. 商業の環境が変わり、以前のような賑わいは戻らないと思うから
4. 他の事業に資源を投じるべきだと思うから
5. その他（自由記述）
-
-

持続可能なまちづくりに向けた官民の協働についてあなたの考えを教えてください。

問9 住民、商店街、民間、行政等が連携して中町エリアの未来を考え、協働してまちづくりを実践していく場があれば参加してみたいと思いますか？（1つに○）

1. 参加してみたい 2. 参加しない 3. よくわからない

問10 中町エリアの再生には、施設の整備(ハード事業)とイベントや仕組みづくり(ソフト事業)をあわせて進めることや、行政と民間が協働して取り組むことが大切だと考えています。

このことについて、どう思いますか？(1つに○)

1. 官民連携で進めるべき
2. 民間主体で進めるべき
3. 市が主体となって進めるべき
4. その他(自由記述)

問11 あなたが市民として中町エリアの再生のために協力できそうなこととして、どのようなことがあると思いますか？(あてはまるもの全てに○)

1. ボランティア活動に参加する
2. イベントに参加する
3. イベントの運営に参画する
4. 中町エリアで消費(買い物、飲食など)をする
5. 中町エリアで起業する
6. 中町エリアに住む
7. わからない
8. 協力しない
9. その他(自由記述)

中町エリアについて自由なご意見をお聞きます。

問12 中町エリアについてご意見があれば記入してください(自由記述)。

問7の質問で「2. ない」と回答した方にお聞きます。

問13 中町エリア再生のためのまちづくりに関心がない理由を教えてください(自由記述)。

問14 中町エリアについてご意見があれば記入してください(自由記述)。

以上でアンケートは終了となります。ご回答ありがとうございました。
本用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、11月28日(金)までに
ポストに投函してください。

【参考資料6】 各種会議開催、先進事例視察等の経過等

〔会議等〕

【酒田市まちなかランドデザイン策定に係る三者会議】

＜期日＞令和7年5月21日

＜検討内容＞キックオフ会議。官民連携連絡会議の構成、策定に向けたスケジュール、市民意見聴取方法について協議・決定

【官民連携連絡会議】

＜概要＞市、「旧清水屋を核とした中心市街地再生協議会」、UR都市機構（オブザーバー）で組織。実務者レベルの「作業部会」と、各組織の代表者から成る「代表者会議」の2部構成

〔作業部会〕

- ・ 令和7年7月16日／＜検討内容＞ランドデザイン（たたき台）の検討、市民意見聴取について、タウンミーティング①について
 - ・ 令和7年9月25日／＜検討内容＞ランドデザイン策定スケジュールの一部変更について、ランドデザイン（素案）の策定に向けた検討（「コンパクト・プラス・ネットワーク」、居住誘導、誘客の核となる施設、ウォークブルタウンなどの追加）、市民意見の聴取結果（「さかポス」の投稿内容、タウンミーティング①で出された意見）について など
 - ・ 令和7年10月24日／＜検討内容＞ランドデザイン（素案）の検討、令和8年度の検討体制について、先進地視察の報告、官民連携連絡会議代表者会議の開催について、今後のスケジュールについて、タウンミーティング②について など
 - ・ 令和8年1月27日／＜検討内容＞ランドデザイン（案）の検討
 - ・ 令和8年3月19日／＜検討内容＞ランドデザインの最終案の検討（予定）
- ◆8月、12月、2月は開催せず。11月は代表者会議に諮る内容（ランドデザイン素案）を書面で確認。

〔代表者会議〕

- ・ 令和7年12月2日／＜検討内容＞ランドデザイン（素案）の内容の検討、決定
- ・ 令和8年2月5日／＜書面検討内容＞ランドデザイン（案）について
- ・ 令和8年3月23日／＜検討内容＞ランドデザインの決定について（予定）

【UR都市機構との会議、ミーティング】

作業部会前などに随時開催

【市議会総務常任委員会への報告・説明】

- ・ 令和7年8月臨時議会 総務常任委員協議会（7/29）にて「グランドデザイン（たたき台）」の説明
- ・ 令和7年12月定例議会 総務常任委員勉強会（12/1）にて「グランドデザイン（素案）」の説明
- ・ 令和8年3月定例議会 総務常任委員協議会（2/16）にて「グランドデザイン（案）」の説明

[先進事例視察]

- ・ 7月17日、18日／岩手県花巻市
＜対象施設＞「マルカンビル」
◆酒田商工会議所主催の視察に、再生協議会及び市からメンバーが参加したもの。
- ・ 7月23日、24日／岩手県宮古市
＜対象施設＞「都市再生整備計画（エリア価値向上整備事業）」「盛岡バスセンター」「オガール（紫波町）」等
- ・ 10月16日、17日／広島県福山市 福山駅前再生にかかる一連の施設見学及び関係者等へのヒアリング
＜対象施設・団体等＞「itiSETOUCHI（旧そごう福山店の民間事業者による暫定利用事例）」「NEW CASPA（優建事業での駅前建物再開発事例）」「駅前広場（バス専用広場をウォークアブル化することを検討中）」「伏見町エリア（リノベーションまちづくり）」
「福山市役所（担当課より聞き取り）」「㈱umika（民間プレーヤー聞き取り）」ほか

〔その他〕

- 9月14日／「酒田散漫さんぽ【番外編】商店街の『これまで』と『これから』を話そう」への参加
- 10月27日／酒田市産業振興まちづくりセンターサンロク「アントレプレナーシップ育成講座」への参加
 - 【内容】高校生の事業化アイデア発表の聴講、まちなかグランドデザインとタウンミーティング②のPR
 - 【所感】発表内容の中には、商店街の空き店舗を利用したショップやゲームイベントの開催など、より現実路線と言える「既存ストックの活用」という視点が多くみられた。また「放課後の居場所が少ない」という声も多く聞かれ、若者のサードプレイスの必要性を認識した
- 11月22日、24日／WacreateCAMP 2025 Autumn（中高生を対象としたワークショップイベント）への参加
 - 【内容】＜22日＞参加者に対する中町エリアのこれまでの経過とまちなかグランドデザインの説明、タウンミーティング②のPR
＜24日＞「中町に若者を増やす」をテーマにした研究内容の発表を聴講
 - 【所感】研究の前提として既存ストック（中町モール内の空き店舗）の活用が想定されていて、高校生らしい自由な発想から事業内容について考案され、それに基づいた発表がなされた。またここでも「若者のサードプレイス」が必要であるという声が聴かれ、グランドデザイン方向性の確認の一助となった

〔UR都市機構による協力〕

今回の策定に当たり、市からUR都市機構に対し、グランドデザインの策定とその実現に向けたコーディネート支援を要請し、受諾をいただいた。その後さまざまな場面で同機構のまちづくりや都市再生に関する豊富な知見を生かし、貴重な助言や協力をいただいている。

【主な協力内容】

- 官民連携連絡会議（代表者会議、作業部会）にオブザーバーとして出席
- 市事務局との会議、ミーティング（作業部会前等に随時）
- 他の支援自治体等における取組事例紹介、先進事例視察（広島県福山市）のアレンジ協力 等